中級から学ぶ日本語

テーマ別

ワークブック

KENKYUSHA

ワークブックを使う前に

本ワークブックは、『中級から学ぶ日本語』の別冊として作成されたもので、「速読」「聴解Ⅰ・Ⅱ」からなっている。本ワークブックは、『中級から学ぶ日本語』のテキストとともに、聞く、話す、読む、書くの４技能を無理なく、楽しみながら伸ばすことができるように編まれたものである。「速読」「聴解」ともに、テキストの各課テーマに沿って書かれたものであり、各テーマのより深い理解を目指している。また、各課での新出語彙、文法項目の導入は、それぞれの課のテキスト本文で既出のものに限られている。このように、本ワークブックの「速読」「聴解」は、学習者が自らの学力の伸びをチェックすることもできるようになっている。すなわち、外国語学習で一番必要だと思われる「達成感」を感じてもらうことも、本ワークブックの目的である。

「速読」「聴解」の適切な使い方、目的、さらにそれを実際の授業にどのように組み込むかに関しては、テキスト『中級から学ぶ日本語』の「有効に使うために」ならびに『教師用マニュアル』に詳説したので、そちらを参照されたい。

日本語で自らの主張ができる学習者が育つことが、著者一同の心からの願いである。

著者一同

目　次

第１課　速　読

「テーブルの足」や「びんの口」などのように、体のどこかを使った言い方がたくさんありますが、これは日本語だけではなく、ほかの言葉でもそうです。例えば、同じことを英語でも “a leg of the table”、“the mouth of a bottle” と言います。足 (leg) や口 (mouth) は、だれでもよく知っているので「テーブルの下のところにあって...」「びんの上のところで、...」と長く説明しなくても、上のように言えば、すぐに分かるのです。

これと同じような言葉の使い方は、まだ、ほかにもたくさんあります。「パンの耳」がパンのどこのことか分かるだろうし、「たいようが東の空にあたまを出した」と言われても、あまりむずかしくはないと思います。また、「会社の顔」や、社長の「手足」になってはたらく人たちがどんな仕事をする人たちかということも、少し考えてみれば、分かるのではないでしょうか。

このように、だれでもよく知っているものを使って、ほかのものを説明するというやり方は、一つの大切な、そしてとても便利な言葉の使い方なのです。使われる言葉も、顔、あたま、手、足などばかりではなく、いろいろな言葉が使われます。「目は心のまど」などというのも、よく知られている言い方です。同じような言い方を、いろいろな国の言葉で並べてみると面白いと思います。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　) 日本語には体のどこかを使った言い方があまりない。
2. (　　) 体のどこかを使った言い方はほかの外国語にはない。
3. (　　) 体を使った言い方をすれば、説明するより分(わ)かりやすい。
4. (　　)「パンの耳」という言葉を聞けば、その意味はすぐ分かる。
5. (　　)「たいようが東の空にあたまを出した」という言い方は分かりにくい。
6. (　　)「会社の顔」というのは、会社の建物のことである。
7. (　　)「社長の手足」とは社長の手や足のことである。
8. (　　)「体のどこか」と言っても、顔、あたま、手、足しか使わない。
9. (　　)「目は心のまど」という言い方もよく知られている。
10. (　　) だれでも知っている短い言葉でほかのものを説明するやり方は、便利(べんり)で分かりやすい。

B 次の質問に答えてください。

1. 文の中にある、体のどこかを使った言い方を書いてください。
2. 英語にはどんな言い方があると言っていますか。
3. どうして体のどこかを使った言葉があるのでしょうか。
4. 「びんの口」はどうして「口」と言うのですか。
5. 「たいようが東の空にあたまを出した」とは、どんな意味ですか。
6. 「会社の顔」とはどんな人のことを言いますか。
7. 「社長の手足」はどうですか。
8. 「目は心のまど」とはどんな意味ですか。
9. あなたの国の言葉で「口」を使った言い方を一つ書いてください。
10. その意味を説明してください。

第1課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　あら、早いじゃない。__________。__________。

B：　え、いや。

A：　__________。かぜ。ねつでもあるんじゃない。

B：　____________________。いいから、あっちへ行ってくれよ。

A：　ははあん、分かった。____________________。ちがう。ねえ、そうなんでしょ。

B：　__________、もう。____________________と思ってるのに。

A：　どうしたの。____________________。

B：　ちがうよ。____________________。

A：　じゃ、どうしたの。____________________、聞かせてよ。

B：　知らないよ。あ～あ、__________って本当だったんだな。姉さんもそうなんだろ。

A：　あら、失礼ね。____________________。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

今日の＿＿＿＿＿＿、次の3つは＿＿＿＿＿＿です。まず、＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿があります が、＿＿＿＿＿＿は次の3つのどれ

でしょう。

1. 猫は＿＿＿＿＿＿。

2. 猫にお金をやっても＿＿＿＿＿＿。

3. 猫は＿＿＿＿＿＿。

はい、わたなべ君。

2番の、猫にお金をやっても...

はい、よくできました。

では、2番目の問題です。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿は、次の3つのどれでしょう。

1. ＿＿＿＿＿＿。

2. ＿＿＿＿＿＿。

3. 猫...

はい、かとうさん。

3番、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

はい、そうです。3番、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿のに、よくわかりましたね。

では3番目の問題です。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿は、次の...早いですね、はい、わたなべ君。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

ざんねんですね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿でした。

第2課　速　読

「はたけのある新しい家。へやの数は6畳2間に、8畳とDK。一番近い駅までバスで10分かからない。バスのていりゅうじょまで歩いて5分なので、大変便利。いなかで生活したいと思っている人には、ちょうどいい家。ねだんは450万円。買いたい、見てみたいと思う人は、06-543-××××のABCD社へお電話を」

これだけたくさんのことが、1.3 cm×3.2 cmの新聞広告に書かれている。短い言葉で、よく分かるようにたくさんのことを伝えることができるのは、新聞広告が一番のようだ。これは、日本語には漢字があるからできるのだと思う人もいるかもしれないが、英語の新聞を見ても、同じように狭いところにたくさんのことが書かれていることが分かる。

私たちが人に何かを急いで伝えようとするときには、短い文で知らせようとする。言葉というものは、話す人と聞く人、書く人と読む人が分かればいいのだから、意味が分かれば、いくら短くしてもかまわない。

新聞広告は、とても高いので、狭いところにできるだけたくさんのことを入れようとして、ここで紹介したような言葉の使い方が生まれたのだろう。

田舎暮し
(畑付)
450万
530 m² 付
新DKバJ
築6 10R
一8 分御
戸6 バ坊
建　停駅
歩より
5 16
06　分キロ
(543) XXXX
ABCD社

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)この家にははたけがある。
2. (　　)この家から駅まで歩いて10分かかる。
3. (　　)へやは三つあり、ほかにDKがある。
4. (　　)この家は古いが、都会にあるのでねだんが高い。
5. (　　)新聞広告(こうこく)は短い言葉でたくさんのことを伝えることができる。
6. (　　)この人は、漢字があるから、新聞広告で多くのことが伝えられると言っている。
7. (　　)英語の新聞にはこれと同じような便利な広告はない。
8. (　　)何かを急いで伝えたいときには、短い文で知らせようとする。
9. (　　)新聞広告は安いから便利だ。
10. (　　)新聞広告は読む人に分かれば、いくら短くしてもよい。

B 次の質問に答えてください。

1. この家はどんなところにありますか。
2. この家はどんな人にちょうどいいですか。
3. この家から一番近い駅までだいたいどのくらいかかりますか。
4. この家を買いたい人はどうすればいいですか。
5. この広告からほかにどんなことが分かりますか。
6. この新聞広告の大きさはどのくらいですか。
7. 漢字があるから広告が短く書けると言っていますか。
8. 何かを急いで伝えようとするとき、どのように知らせるのですか。
9. 言葉というのはどんなものだと言っていますか。
10. 新聞広告には狭いところにたくさんの言葉が書いてあります。どうしてですか。

第2課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　__________________。

B：　ああ、__________________。さっきね、ええっと、あの、____________________

____。

A：　__________________ってだれ。どこの人。

B：　__________________って言ってたけど、ええっとね、__________________かしら。

A：　そんな人いないわよ、__________________。

B：　__________________名前、言ってみて。

A：　男の人、女の人。

B：　__________________。

A：　いくつぐらいの。

B：　____だけど。

A：　まつもと、まつうら、まつだいらさんに...

B：　____と思うけど。

A：　ええっと、__________________。

B：　そうそう、それよ、それ。__________________。

A：　ほんとに、____

________________、お母さん。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　) 2. (　　　) 3. (　　　) 4. (　　　) 5. (　　　)
6. (　　　) 7. (　　　) 8. (　　　) 9. (　　　) 10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

みなさん、こんにちは。今日の『テレビあんなものこんなもの』では、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と思います。

「はい、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。今、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ので、ピーという音が聞こえましたら、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」

電話をかけたときに、録音されたこんな声が聞こえてきたら、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とおっしゃる方、ピーという音を待って名前をおっしゃる方、いろいろではないかと思います。今、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿や、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿などでは、このような電話がたいへんふえています。「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ときにだれかが電話をしてきても、あとでテープを聞けば＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ので、とても便利だ。また、家にいるときでも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とき、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ときなどに、たいへん役に立つ」それで、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が多いようです。

ところが、＿＿ということです。どうしてかというと、それは、あの＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿なの

だそうです。電話をかけたとき、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿のは

もちろんだし、電話をかけてくださった方にも＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ということのようです。

第3課　速　読

西野(にしの)さんの家は五人家族、子どもたちはまだみんな小学生です。12 さいの新一(しんいち)君、10 さいの洋子(ようこ)ちゃん、一番下の新二(しんじ)君は今年一年生になりました。この家の子どもたちはよく両親を手伝います。毎日そうじをしたり、せんたくをしたり、近くのスーパーへ買い物に行ったりしています。西野さんのごしゅじんは新聞記者で、おくさんの光子(みつこ)さんも中学校の先生をしていますから、二人ともとても忙しいのです。それでこの家では、子どもたちが小さいときから、自分のことは何でも自分でさせてきました。もちろん服も自分で選んで着ます。朝ご飯の用意も嫌(いや)がらずに子どもたちがしますし、食べたあとでさらや茶わんをあらって、それから学校へ行きます。

夕方家に帰ってくると、おにいちゃんの新一君は、自分も勉強しながら、弟がしゅくだいをするのを手伝ってやります。洋子ちゃんは、五時ごろになると、れいぞうこからやさいを出してあらったり、切ったりし始めます。勉強が終わった男の子たちは「嫌だなあ」と言って、したがらないときもあるのですが、それでも洋子ちゃんを手伝います。ですから、お母(かあ)さんが家に帰ってきたときには、晩ご飯の用意はもうできているのです。光子さんは、「子どもたちにやさいを切らせたり、火を使わせたりするのは、早すぎるかなと思ったんですけど、大丈夫でした。子どもたちはだれも忙しくて遊ぶ時間がないからこまるとは言いませんよ。みんなで相談(そうだん)してやっているようです」と話しています。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)西野(にしの)さんの家族は五人で、子どもは三人いる。
2. (　　)子どもは中学校や小学校へ行っている。
3. (　　)両親がはたらいているので、子どもたちもみんな家の仕事をする。
4. (　　)お母(かあ)さんが帰ってきたとき、晩ご飯の用意は何もできていない。
5. (　　)晩ご飯は子どもたちが作るが、朝ご飯の用意はお母さんがする。
6. (　　)子どもたちは茶わんをあらってから学校へ行く。
7. (　　)新一(しんいち)君は自分の勉強が忙しいので、ほかのことは何もしない。
8. (　　)学校から帰ってから男の子たちは何もしない。
9. (　　)洋子(ようこ)ちゃんはやさいをあらったり、切ったりすることができる。
10. (　　)小さい子どもに火を使わせたり、やさいを切らせたりすることは、あぶないのでさせないようにしている。

B 次の質問に答えてください。

1. 子どもたちは毎日どんなことをして、手伝いますか。
2. 両親の仕事は何ですか。
3. 西野さんの家では、どうして子どもたちがよく手伝いをするのですか。
4. 西野さんの子どもたちは学校へ行く前は忙しいです。どうしてですか。
5. 新一君は晩ご飯の用意をする前に何をしますか。
6. 新一君は弟に何をしてあげますか。
7. 洋子ちゃんは一人で晩ご飯を作りますか。
8. 男の子たちもいつも喜んで晩ご飯の用意をしますか。
9. お母さんは何をさせるのが早すぎると思いましたか。
10. 子どもたちが相談(そうだん)してやるのは何ですか。

第3課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：あら、たろうちゃん。今日、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：はい。

C：「はい」じゃないでしょう。ねえ、ちょっと聞いてよ。たろうったら＿＿＿＿＿＿＿っていうのに、＿＿＿＿＿＿＿。

B：＿＿＿＿＿＿＿、毎日。

A：何をしてるの。

B：アルバイト。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿行けばいいんです。

A：へえ、＿＿＿＿＿＿＿っていいわね。

B：＿＿＿＿＿＿＿。でもね、僕は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿から、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。本当は＿＿＿＿＿＿＿ですけどね。

C：あまいのよ、考え方が。この話になると、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。何考えてんだか、この子ったら。

B：人間、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿だよ、母さん。

C：またそれ。今はいいわよ。でも、これから、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

______________________________________っていうの。

B： 今日は____、後にしようよ、この話。

聴　解 *II*

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：木下先生はこの「仕事と家庭」の問題を＿＿＿＿＿＿＿＿いらっしゃいますが、今の子供たちは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿でしょうか...

B：そうですね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、まあ、今から3、40年前ですが、その時代と今とで＿＿＿＿＿＿＿＿をお話ししますと、前には＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と、申しました。

A：ええ、ええ。私も＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿一人です。

B：ああ、そうですか。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、子供は一生懸命＿＿＿＿＿＿＿＿を見て育ちました。「お父さんは＿＿＿＿＿＿＿＿あんなにがんばっているんだから...」母親は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。ところが、最近そうではなくなってきたんです。

A：はあ。

B：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿ということです。まあ短くてもいいから、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿を＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と思いますね。

第4課　速　読

ウィックさんは毎年12月になると、自分でとった写真に短い文をつけて、友だちに送っている。日本に来て初めての年は、若(わか)い人たちが電車の中でまんがを読んでいる写真であった。「日本人がみんなまんがを読んでいるのではありません。小学生は学校の勉強が大変で、もっと難しい本を読んでいます」という文にはわらってしまった。

去年のは、駅で50歳(さい)ぐらいの人がかさでゴルフの練習をしている写真で、文は「ゴルフは練習、練習ですから、雨の日も晴れの日も休まずやっているのです。あぶない？　人がこまる？　我慢(がまん)をしてください」とあった。そういえば日本では、ゴルフだけでなく、テニスも、すいえいも、まず本を買い、クラブに入り、先生に習い、少しでもひまがあれば練習するという人が多い。ウィックさんがあきれるのも無理はない。

ウィックさんをもっと驚(おどろ)かせているのはふくそうと持ち物である。どこのゴルフ場へ行ってみても、国際試合でもやっているのではないかと思うほどだ。「日本人のことを悪く言いたくないけど、どうしてあんなにふくそうや持ち物にお金を使うのか分かりません。それだけでなく、ゴルフ場は遠くて高い。着くまでに2、3時間かかるんでしょう。1回2万円もはらうなら、私は映画を10回見ます」

こう話しているウィックさん、今年はどんな写真を送るのだろうか。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)ウィックさんは毎年12月に友だちに写真を送る。
2. (　　)ウィックさんの初めての写真は、電車の中でざっしを読んでいる子供(こども)であった。
3. (　　)ウィックさんは日本の小学生は勉強が大変だと思っている。
4. (　　)去年の写真は、公園でゴルフの練習をする若(わか)い人であった。
5. (　　)日本ではテニスやすいえいのクラブに入る人は少ない。
6. (　　)日本人には、スポーツは楽しむものではなくて、一生懸命(いっしょうけんめい)練習するものなのである。
7. (　　)ウィックさんは一生懸命スポーツの練習をする日本人を偉いと思っている。
8. (　　)ウィックさんはスポーツを楽しくするには、ふくそうや持ち物は大切なものだと思っている。
9. (　　)日本ではゴルフをするにはお金がかかる。
10. (　　)ウィックさんの見る映画は1回200円ぐらいである。

B 次の質問に答えてください。

1. ウィックさんは写真に何をつけて送りますか。
2. 日本人はみんなまんがを読んでいるのですか。
3. どうして小学生の方が大学生より難しい本を読んでいると言っていますか。
4. 去年の写真はどんな写真でしたか。
5. どうしてウィックさんはあきれたのですか。
6. ウィックさんは日本のゴルフ場へ行ってどう思いましたか。
7. それはどうしてですか。
8. ウィックさんは2万円あったら、何をすると言っていますか。
9. ウィックさんは一年に何回写真を送りますか。
10. ウィックさんは毎年どんな写真を送っていますか。

第4課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　) 2. (　　) 3. (　　) 4. (　　) 5. (　　)
6. (　　) 7. (　　) 8. (　　) 9. (　　) 10. (　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　さあ、もういっぱいどうぞ。

B：　はい、ありがとうございます。

A：　あれ...失礼、ちょっと待ってください。上田君、＿＿＿＿＿＿＿＿。れいぞうこの中。

C：　ビール、ビールと...＿＿＿＿＿＿＿＿。さっきので終わり。

B：　じゃ、＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　いや、いや、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　ええ。でも＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

C：　大丈夫、大丈夫。＿＿＿＿＿＿＿＿けど、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　ああ、そうでしたね。日本では＿＿＿＿＿＿＿＿も＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿で＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　そう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。最近は、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿、何でもあるんです。

B：　ええ、ウィスキーも。ふうん・・・。

A：　便利でしょ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ときに＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿というのは。

B：　でもね、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

C：　＿＿＿＿＿＿＿＿って、どうしてですか。

B：　子供でも＿＿＿＿＿＿＿＿には、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ということでしょ。＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　ああ、そう言われればそうですね。う～ん。

聴　解 II

A テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B テープを聞いて、書いてください。

A：ブバーンさんは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿。

B：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：じゃあ、もう＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

今日は＿＿＿＿＿＿＿＿＿していて＿＿＿＿＿＿＿＿＿お話していただいている

んですが、ブバーンさんが一番びっくりされたことは...

B：たくさんありますね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とか、＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とかですね。でも一番驚いたのは＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿っていうことです。

A：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ですか。たとえば。

B：たとえば、私は今＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、その＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿林さんです。朝6時から夜9時まで＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

しています。夏は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿が、冬は一日中＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。私の国では本当に考えられないことですね。

A：ブバーンさんのお国は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：そうです。ネパールでは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、外ではたらきます。

A：そう言えば、私たちのように＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿も、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

第5課　速　読

「私は食べ物のあまりない時代の人間（にんげん）ですから、本当にびっくりしてしまいましてね。こまってしまいました」山下先生は、そう言うと本当にこまった顔をして、次に何を言おうかと考えていらっしゃるように見えた。

小学校二年生のむすめの学校でのことである。先生が、「世界には、食べ物がなくて死んでしまう子がたくさんいます。みんなはこの人たちのために、何ができると思いますか」とたずねられると、「先生、スーパーはないの」と聞いたり、「お母さんにたのんで、たくさん食べ物を買ってきてもらって、送ってあげます」と答えたりした子がいたそうである。

「今の子供たちには、食べ物がないということがどういうことなのか、なかなか考えられないのでしょうね」とおっしゃる山下先生の言葉を聞いて、私は「そうかもしれないな」と思った。私が、むすめに「もっと食べなさい」ということはあっても、むすめの方から「もっと食べたい」ということはない。

少しおなかの出始めた夫（おっと）にこの話をすると、「そう。今、料理の本よりも、やせるための本を買う人の方が多い時代らしいからな。食べない努力（どりょく）をする人たちが、食べられない人たちと一緒に生きている時代なんだ、今は」。それだけ言うと、あとは何も言わなかった。

山下先生は「子供さんと一緒に、食べ物のことを話し合ってください」とおっしゃったが、これは難しいしゅくだいになりそうである。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)山下先生は食べ物のあまりない時代に育った人である。
2. (　　)山下先生は小学校の先生だ。
3. (　　)今の子供たちは、食べ物がなくて死んでしまう子がたくさんいることを知っている。
4. (　　)この文を書いた人の子供は小学生だ。
5. (　　)この人の子供は自分の方から「もっと食べたい」とよく言う。
6. (　　)今の子供たちは食べ物がないということがどういうことかよく分からない。
7. (　　)今は料理の本よりも、やせるための本を買う人の方が多い時代だ。
8. (　　)今は食べない努力(どりょく)をする人ばかりが生きている時代だ。
9. (　　)山下先生がびっくりしてこまったのは、世界には食べ物がなくて死んでいく子がたくさんいることを知ったからだ。
10. (　　)山下先生から出されたしゅくだいは「子供と一緒に食べ物のことを話し合う」ことである。

B 次の質問に答えてください。

1. 山下先生は子供たちにどんな質問をしましたか。
2. 子供たちは何と答えましたか。
3. 山下先生は子供たちの答えを聞いて喜びましたか。
4. 山下先生が育ったのはどんな時代ですか。
5. 今の子供たちは、食べ物がないということがどういうことなのか考えられないようです。それはどうしてですか。
6. 今の子供たちは食べ物はどこにあると考えていますか。
7. この人の子供は自分から「もっと食べたい」と言いますか。
8. この人の夫(おっと)は今はどんな時代だと言っていますか。
9. 山下先生はどんなしゅくだいを出しましたか。
10. あなたは山下先生の質問に何と答えますか。

第５課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　　）2.（　　　）3.（　　　）4.（　　　）5.（　　　）
6.（　　　）7.（　　　）8.（　　　）9.（　　　）10.（　　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：ただいま。

B：あっ、おねえさん。お帰りなさい。楽しかった。

A：楽しかったわ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、ひさしぶりだった。

B：良かったわね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：う〜ん、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：それだけ。

A：それから、＿＿＿＿＿＿＿には＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：へえ、それだけ。

A：でもね、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、そんなこと問題じゃなかったの。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人たちで、いろいろな話が出てね。あんなにおいしいワイン、初めてだった。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：へえ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：あなたも＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

「うん、いいわよ。じゃ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿、会社が終わってから、どう。え、場所ねえ。う～ん。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿から、そこにしようか。私が案内するから。何のって、中国料理の...ううん、そんなことないわ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。それだけじゃなくて、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。そこのおじさん、昔、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿でね。うん、仕事でね、よく行ってたらしいのよね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とき、町の小さいお店に入ったんだって。それが＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿『こんなにおいしい中国料理、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿』って思ったんだって。そうね、日本じゃないのよね。で、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿って考えたのね。それから中国へ行ったときには、いつも＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿...ほら、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。で、作り方、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ね。それで、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、『この味をぜひ日本の人たちにも』って思って、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。じゃ、長くなるからこれで。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」

第6課 速 読

一まいの紙が鳥や動物、花や草になります。この本の中で紹介したものは、私が自分で考えて作ったものばかりです。皆さん、どうぞ、一度作ってみてください。しかし、私の好きな鳥や動物を本にしてみたらというお話があったとき、そうしてみようと思ったのは、私の作ったものをご紹介しようと思ったからではなく、一まいの紙が教えてくれた「遊びの心」を多くの方に知っていただきたいと思ったからです。

私が紙と遊ぶことを始めたのは、入院していた病院のベッドの上で、一ぴきのゾウを作ってからでした。何もすることがなくて古い新聞を読んでいると、その中に、紙でいろいろな動物を作る人の話があり、ゾウの作り方が出ていました。読んでいた新聞を使って、私も作ってみました。簡単(かんたん)そうに書いてありましたが、なかなかできません。そして、やっとできたゾウも、新聞のものとは少し違います。それで、もう一度、もう一度と思いながら、何度も作ってみました。できたゾウを並べてみて分かったのですが、どのゾウも、みんな少し違うのです。強そうなゾウ、ちょっとかなしそうなゾウ、つかれて休んでいるように見えるゾウ。一まいの紙ですが、本当に面白いものだなあと、そのとき思いました。

あれから30年。私は自由な時間があると、紙と遊びます。一まいの紙を前に、まず、頭の中でいろいろな絵をかきます。それから、その紙を使って、頭の中でかいた鳥や動物、花や木の形を作ります。こうすればいいかな、こちらの方がいいかな、などと考えながら紙と遊んでいると、私はとても自由な気持ちになっています。

皆さん、どんな紙でもいいです。手に取って、どんな鳥、どんな花になるか考えてみてください。そして、この本と一緒に自由で新しい世界で遊んでみてください。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)これを書いた人は、自分が作った紙の動物がきれいなので、みんなに見せたいと思った。
2. (　　)これを書いた人は、子供のとき、先生からその作り方を習った。
3. (　　)これを書いた人は、新聞を見て、自分で動物を作ってみた。
4. (　　)紙で動物を作るのは、始めは難しかった。
5. (　　)初めて作った動物は猫だった。
6. (　　)作った動物はいつも同じに見える。
7. (　　)この人はもう30年もこの遊びを続けている。
8. (　　)紙でものを作るのはこの人の仕事になった。
9. (　　)いつも作る前に、紙にその動物の絵をかいている。
10. (　　)この人は動物だけでなく、紙でいろいろなものを作ることができる。

B 次の質問に答えてください。

1. この人は紙で何を作っていますか。
2. この人は本の中でどんなことを紹介しましたか。
3. どうしてその本を出しましたか。
4. いつからこの遊びを始めましたか。
5. 初めて作ったゾウは新聞のものと同じようにできましたか。
6. 何度も作ってみて、どのようなゾウができましたか。
7. この人は初めて紙でものを作ってみて、どう思いましたか。
8. この人が紙と遊ぶのはどういうときですか。
9. この人は作る前にまず何をしますか。
10. 紙と遊んでいると、どんな気持ちになりますか。

第6課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）

6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　おい、ユキ、また＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　そうなの。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿のかしら。

A：　親だけだよ、そう思うのは。

B：　この間＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。あれからは＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。一番好きなんですって。

A：　へえ、そんなに＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。そう言えば、

＿＿＿＿＿＿＿＿ずっと立っていたな。

B：　ここが＿＿＿＿＿＿＿＿とか言いながら、自分は頭の中で＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。「赤ちゃん、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」って、＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。見てるとおもしろいわ。

A：　＿＿＿＿＿＿＿＿なんて、忘れてしまったな。

B: ゾウの絵をかくでしょ。それで＿＿＿＿＿＿＿＿と一生懸命＿＿＿＿＿＿＿＿。

＿＿＿＿＿＿＿＿でも、＿＿＿＿＿＿＿＿。

A: そうか。子供っていうのは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

外国の方が＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と、いろいろたいへんだと思いますが、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿したらどうなさっていますか。

―そうですね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ので、いろいろあるんです。そんなときは、＿＿＿＿＿＿＿＿。初めは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が、あれはおもしろいですね。私のような＿＿＿＿＿＿＿＿にも＿＿＿＿＿＿＿＿。お酒を飲んでいるから、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。あれがいいですね。＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿大騒ぎなんです。おおぜいの前で歌っていると、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。飲んだり歌ったりしていると＿＿＿＿＿＿＿＿とも＿＿＿＿＿＿＿＿し、カラオケっていうのは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿し、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿し。ニューヨークにいたころからカラオケの話は聞いていました。でも、＿＿＿＿＿＿＿＿

____________________か、分からなかったんですが、____________________、____________

________。

第7課　速　読

公園や町の中などで、「この中に入るな」「魚つり禁止（きんし）」「止まれ」「わたるな」などの命令（めいれい）や禁止の文をよく見る。こういうのは短くて便利だし、もう慣れてしまっていて、失礼だと思ったことがなかった。しかし、この間遊びに行った所で、ちょっと違うものを見た。そこは、高さ3000 m の山で、きれいな花がたくさんさいている所だったが、だれも花をとっている人はいないし、ゴミもなくて、とても気持ちが良かった。そこにあるバスの停留所（ていりゅうじょ）に「とるものは写真だけ、残（のこ）すものは思い出だけ」という紙がはってあった。「花はとるな」「ゴミは落とすな」と言われるよりもずっと良かった。こう書いてあるからきれいなのだとは言えない。しかし、こういうあたたかい言葉の使い方ができる人たちが守っているから、山がきれいなのだとは言えるだろう。こんな言葉ばかりなら、楽しいだろうなあと思う。同じように「わたるな」よりは「100 m 向こうでわたれます」の方が親切だし、「魚つり禁止」よりは「私たちを連れて行かないでください」の方が面白くて分かりやすいと思う。

同じ考えからだろうか、このごろ「××を払（はら）え」という知らせが、「皆様からいただいたお金は××と〇〇に使われています」となってきた。こう言われると、払ってもいいなという気持ちになるから面白いものだ。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)町の中で見る命令や禁止の文はたいてい短い。
2. (　　)短い命令や禁止の言葉は便利だ。
3. (　　)命令の言葉は失礼なので、みんな怒っている。
4. (　　)これを書いた人は最近、花がきれいな海岸へ遊びに行った。
5. (　　)この人がのぼった山はきれいだった。
6. (　　)その山には「写真をとるな」という紙がはってあった。
7. (　　)その山で見た命令や禁止の言葉は、それまで見たものと違っていた。
8. (　　)この人は山で見たような言葉がもっと多くなればいいと思った。
9. (　　)このごろ「××を払え」という知らせが多い。
10. (　　)「××を払え」という命令の文を読むと、払いたくなると、この人は言っている。

B 次の質問に答えてください。

1. 命令や禁止の文が短いのはどうしてですか。
2. 人々が命令や禁止の文を見て失礼だと思わないのはどうしてですか。
3. この人は最近どんなところへ遊びに行きましたか。
4. この人がそこで見たのは、どんな禁止の言葉でしたか。
5. この人はそれを見て、どう思いましたか。
6. この人はその場所はどんな人たちに守られていると思いましたか。
7. 「××を払え」と「皆様からいただいたお金は○○と××に使われています」とでは、どう違うのでしょうか。
8. この人は命令や禁止の文をどのような言い方にすればいいと思っていますか。
9. 「駐車禁止」と同じ意味でこんな言い方の方がいいと思う言葉を考えてください。
10. 意味は同じでも、このような言い方の方がいいと思う例をあげてください。

第7課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　あら、この色、きれいね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　ええ、こちらへどうぞ。＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿。

B：　いいえ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。今、みなさん、＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　でも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　＿＿＿＿＿＿＿＿と思いますけど。それなら．．．＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　う～ん、茶色ね。それは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。それなら、まだ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　そうですね。でも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
が．．．。

A：　そうかしら。そうね、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、こちら

のほうがいいかもしれないわね。

B：　ええ、そうですわ。今、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿けど、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿なら、こちらのほうが...

A：　そうね。じゃあ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

聴　解 II

A テープを聞いて、答え書いてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B テープを聞いて、書いてください。

最近の＿＿＿＿＿＿＿＿なんですが、何でも＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、そんな感じがするんです。私は、日本語は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿から、きれいな言葉だと思ってるんです。また、同じことを言うときでも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、相手に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿を残しておく、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。私が若いころのことですが、昔は男の人が＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とき、「＿＿＿＿＿＿＿＿」なんて言いませんでした。私の友達もそうでした。友達は、月のきれいな公園で「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」と言ったのだそうです。それを聞いた相手の人は「＿＿＿＿＿＿＿＿」と答えたそうです。男の方はこまってしまって、「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」と言って、何も言えなくなり、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、この二人は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

この話を＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が、こんな笑い話も＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

__________。だれもが「______________________________」と言

う時代ですから。______________________________ば__________

____________________が、それでも何か____________________

______________________________、私は少し寂しいんです。

第8課 速読

今の若い女性が理想と考える男性は昔のそれとはずいぶん違ってきた。昔はどんなときでも自分を守ってくれるような強い男性が理想で、顔や言葉の優しい男性は女のようだと言われていた。ところが最近の女性がいいと思っているのは細くて背が高く、おしゃれで優しい男性なのだそうだ。そこで、男性は一生懸命自分を飾る努力を始めたようだ。中には、男性専門のおしゃれざっしを買って、かみの形や着るものを研究する者もいるそうだ。買いたい物があれば、朝早くから店の前に並んで待ったりする。確かにおしゃれな男性がふえるのはいいことだ。しかし、右を見ても左を見ても、同じような男性ばかりに見えるのはどうしてなのだろう。同じようなデザインの服、バッグ、同じようなかみの形、歩き方、そうなると話まで同じようなことを話しているように見えてしまう。これはテレビやざっしなどがいう「理想」に近くなろうとしすぎて、結局みんなが同じになってしまったためではないだろうか。

昔は、男性の考える「理想の女性」になろうと努力する女性が多かった。もちろんまだ、男性のためだけにおしゃれをしている女性もいるが、男性がどう考えるかをあまり問題にせず、もっと自由に自分の好きなおしゃれをしている女性の方がふえた。仕事やスポーツ、勉強を一生懸命やっている女性もふえ、その中には、特別におしゃれをしていないのに、きれいだなと思わせる女性がいる。中から出てくる何かがその女性をきれいに見せているのだろう。きれいに見せようと外見を大切にしてきた女性が、中身を一生懸命みがき、「外見より中身」と言っていた男性が外見を飾り始めたのは面白いことだ。

内容チェック

A　文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)若い女性が考える「理想(りそう)の男性」は、今も昔も同じである。
2. (　　)昔はおしゃれで優しい顔の男性は、女のようだと言われた。
3. (　　)最近、若い男性はずいぶんおしゃれをするようになった。
4. (　　)男性専門のおしゃれざっしが売られている。
5. (　　)男性がおしゃれをするのは悪いことだ。
6. (　　)最近の男性はみんな同じように見えると、これを書いた人は言っている。
7. (　　)女性はいつも男性のためだけにおしゃれをしている。
8. (　　)おしゃれをしなければ、自分をきれいに見せることはできない。
9. (　　)最近の女性は自分の外見ばかりを大切にしている。
10. (　　)昔は、男性は外見より中身を大切にした。

B　次の質問に答えてください。

1. 昔はどんな男性が「理想の男性」と言われましたか。
2. 顔や言葉の優しい男性は、昔はどのように言われましたか。
3. 今の女性が好きなのは、どんな男性ですか。
4. 最近の男性はおしゃれをするためにどんなことをしますか。
5. おしゃれな男性が、みんな同じように見えるのはどうしてですか。
6. 昔の女性と今の女性は同じでしょうか。
7. 最近の女性のおしゃれのしかたは、昔とどう違いますか。
8. 仕事やスポーツ、勉強を一生懸命やっている女性の中にはどんな人がいますか。
9. それはどうしてだと言っていますか。
10. 「人が中身をみがく」というのはどういうことですか。

第8課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）　2.（　　）　3.（　　）　4.（　　）　5.（　　）
6.（　　）　7.（　　）　8.（　　）　9.（　　）　10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　どうぞ、こちらへ。

B：　ほお。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

C：　ここで＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　そうですか。ここでね。

A：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。何もないからねえ。

B：　いや、ええ、まあ、その...そうなんです。

C：　私たちも＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が、本が＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿たり、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿たりするんですよ。

B：　これじゃ、写真にならないなあ。こんなに＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿というのは＿＿＿＿＿＿＿＿でして。

C：　絵や写真なんかも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。先生、＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　それはね、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　どうしてですか。

A：　何かがあると、どうしても＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、自由に考えられないんですよ。ですから、＿＿＿＿＿＿＿＿し、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

C：　ほう、なるほどねえ。＿＿＿＿＿＿＿＿とは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。じゃ、まず＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　いいですよ。

B：　でも、何かないと．．．＿＿＿＿＿＿＿＿。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　　）2.（　　　）3.（　　　）4.（　　　）5.（　　　）
6.（　　　）7.（　　　）8.（　　　）9.（　　　）10.（　　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

時計というのは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、それも最近はずいぶん変わってきました。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。今日は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ふじいさんにお話をうかがいました。

「時計は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿20年前とはずいぶん変わりましたね。昔は一日に5､6分、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿のが＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が、今はそんなことはありません。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿時計が多かったんですが、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿。時計をして＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。デザインも今は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、昔のような＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。でも時計も変わりましたが、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。昔は＿＿が、今はそれだけじゃだめです。今はね、パーティーへ行くときは＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿

____、海へ行くときは____________________、仕事のときは____________________________

____________________など、いろいろですね。今は時計が売れるのは____________________

____________________________より、____。」

第9課　速　読

コーヒーで有名な、あのハワイのコナというところへ遊びに行った友達の話。食べすぎたのか、おいしいコーヒーを飲みすぎたのか、急におなかが痛くなり、「ちょっと」と言って、急いでトイレへ行ったそうです。ところがトイレの前へ来て、「?」──男性用、女性用と書いてあるのは分かるのですが、これがハワイ語で、どうも分からない。絵もかいてはあるのですが、これがまた、どちらもスカートのようなものをはいていて困(こま)ってしまったそうです。それからその友達がどうしたのかは忘れてしまいましたが、この話を聞いたとき、笑っていいのかどうか、私も困ってしまいました。でも最近は空港や駅などで使われている絵は、だれにでも分かりやすくなっているので、私の友達のようにトイレの前で「右か左か」となかされる人は少なくなったと思います。

だれが見ても意味が分かるということで、絵と同じように使われているのが色です。東京(とうきょう)、大阪(おおさか)、福岡(ふくおか)などの大都市の地下鉄の地図は、赤や青や緑(みどり)を使って分かりやすいようにかかれているし、電車の色を見ればどこへ行くのか分かるようになっているところまであります。学生も、ふでばこの中に赤や青や黄色のペンを入れて、先生の説明を聞きながら「すぐ覚(おぼ)えること」「テストの前に覚えること」「覚えなくてもいいけれども大切なこと」と色をぬるということです。

最近は外国へ行っても車を運転するのにあまり困りません。「あぶない」ということを知らせるために赤が使われていたり、あちらこちらに絵を使った案内があるからでしょう。色と絵は、どちらも言葉と同じように伝えたいことを簡単に分かりやすく伝えるのに役に立っています。

内容チェック

A　文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)これを書いた人の友達は、ハワイで困(こま)ったことは何もなかった。
2. (　　)友達はおなかが痛くなって病院に行った。
3. (　　)トイレの案内はハワイ語と絵と両方あったので、すぐ意味が分かった。
4. (　　)男性と女性の絵はどちらも同じように見えた。
5. (　　)最近空港などで使われている絵はだれが見ても分かりやすい。
6. (　　)日本の大都市では色で意味を表(あらわ)すことがない。
7. (　　)色を見ればどこへ行く電車か分かることもある。
8. (　　)東京では地図の色を見ただけで、きっぷのねだんが分かる。
9. (　　)学生はいろいろな色のペンを使ってノートを書いている。
10. (　　)案内に絵や色を使うのは日本だけではない。

B　次の質問に答えてください。

1. この人の友達はどこへ遊びに行きましたか。
2. トイレの前でこの人の友達はどうして困ったのですか。
3. 絵を見ても意味が分からなかったのはどうしてですか。
4. 最近の駅の案内はどのように変わってきましたか。
5. 言葉のほかに意味を表すものには、何がよく使われますか。
6. 地下鉄の地図で色はどのような使い方をされていますか。
7. 学生たちはどんなことに色を利用していますか。
8. 外国へ行っても、車の運転に困らないのはどうしてですか。
9. 色や絵はどんなことに役に立っていますか。
10. ほかにも、色や絵と同じように、役に立つものがありますか。それはどんなものですか。

第９課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)

6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：そのセーター、きれいな色ねえ。＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：そう、ありがとう。

C：でもね、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿て、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿なんだって。紫っていうのは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ときに着るんだって。

B：ふうん、そうなの。知らなかったわ。

A：ねえねえ、私は。ピンクに赤。

C：ピンクは＿＿＿＿＿＿＿＿、赤は＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：そうならいいけどね。

B：ねえ、でも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿。

C：うん、息子がちょっとね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿なんだけど、息子がかいた絵を見てびっくりしたの。＿＿＿＿＿＿＿＿みんな紫なのよ。それで＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

____。

B：ふうん、それで。

C：そのころ____

____________、私も忙しくて____

______________________________。

B：じゃ、子供さん、寂しかったんでしょうね。

C：紫の絵は「____________________」____

____。先生の話じゃ____

______________________。

B：なるほどね。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

この間読んだ本の中におもしろい話がありました。

一ドルにはみどり、一万円には赤で＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。この色の違いは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿でもあるのです。というのは、アメリカでは＿＿＿＿＿＿＿ために、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿時代がありました。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と、そこでその木を育ててみて、＿＿＿＿＿＿＿ば、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。「水があってみどりが育つ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」ということで、みどりは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿だったんです。

ところが、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿日本では、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。それよりも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。では、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿赤い色にはどんな意味があるのでしょうか。秋になると、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。赤は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿大切な季節、秋の色だったんです。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

_______________________________赤やみどりの判には、こんな意味があるんだそうです。おもしろいと思いませんか。

第10課　速　読

こんなにたくさん車が走っているのに、日本で売れる車の数が少なくなったという話は聞かない。どこへ行っても道は一杯で、タクシーに乗って急いでも、約束の時間にその場所に行けないことの方が多い。駐車(ちゅうしゃ)をする場所をさがすのにも、大変な時間がかかる。それに駐車場があっても、車を止めるのに高い料金を払わなければならない。それでも車が売れるのはどうしてだろう。

「日本の家が問題だ」という説明がある。家が狭くて自分が一人になれる場所がないし、広い家を買おうと思っても、高すぎて買うことができない。車なら銀行でお金を借りて買っても、毎月銀行に返すお金は家を買ったときほど多くはない。それで、大きな音で自分が好きな音楽を聞いたり、一人で静かに何かを考えたりするのに、「車」という自分の場所を買うのだそうだ。

20年前に、初めてアメリカへ行ったとき、同じような話を聞いた。ある日、長い時間散歩をして少し疲れたので、一緒にいたアメリカ人の友達に、きっさ店(てん)へ行ってコーヒーでも飲もうと言うと、アメリカには日本のようなきっさ店は少ないと言われた。私がどうしてかと聞くと、日本で生活したことがあるその友達は、「その理由は日本の家が狭いからだと思う」と説明してくれた。アメリカでは友達とコーヒーを飲むのは、きっさ店ではなくて、自分の家や友達の家だそうだ。でも日本の家は狭いので、きっさ店へ行くのではないかと言うのだ。そのときは「なるほど」と思っただけだったが、今考えてみると、これも車の話と同じで、自分たちの「場所」にお金を払うということだろう。きれいにみがいた車の中をいろいろな物で飾ったり、車に乗る前にくつをぬぐ人もいるそうだ。そんな大切な車に乗って行く所はどこだろうか。友達とお茶を飲んだり話をしたりする「場所」へ行くのだろうか。

来月、このアメリカの友達がひさしぶりに遊びに来る。豊(ゆた)かになったと言われている今の日本を見て、今度は何を思うのだろうか。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)最近、日本では車があまり売れなくなった。
2. (　　)日本の道は車が多くて、タクシーでも約束の時間にその場所へ行けないことがある。
3. (　　)高い料金を払えば、車を駐車する場所はどこにでもある。
4. (　　)家より車の方が簡単に買える。
5. (　　)日本では、一人になる場所を作るために車を買う人がいる。
6. (　　)アメリカにも日本と同じようなきっさ店がたくさんある。
7. (　　)アメリカ人の友達は、人と話したいときには家で話すと言った。
8. (　　)日本の家は広いけれども、友達を呼んでコーヒーを飲んだりしない。
9. (　　)きっさ店へ行くのは家がきたないからだとアメリカの友達は言っている。
10. (　　)きっさ店も車も「場所」にお金を払っているようなものである。

B 次の質問に答えてください。

1. タクシーで行けば必ず約束の時間にその場所に行くことができますか。
2. 車でどこかに行ったとき、何をさがすことが大変ですか。
3. どうして車がよく売れると言っていますか。
4. 車を買うということは、何を買うことだと言っていますか。
5. 車の中ではどんなことができると言っていますか。
6. どうしてアメリカには日本ほどきっさ店が多くないのですか。
7. 日本の人たちはどうして家で友達と話をしないのですか。
8. きっさ店に行くのは飲み物にお金を払うのではなく、何にお金を払っていると言っていますか。
9. 車を大切にする人の中にはどんなことをする人がいますか。
10. あなたは「場所」を買うのにお金を使っている日本人を見て、どう思いますか。

第10課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　　）2.（　　　）3.（　　　）4.（　　　）5.（　　　）
6.（　　　）7.（　　　）8.（　　　）9.（　　　）10.（　　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：なに、それ。

B：アンケート。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿って何人。＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。無理だよ。

B：いいの。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。ええと、1番。『＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿』
はい、まる。満足しています。

A：へえ、お母さん、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、それで満足してるの。

B：そりゃあ、いろいろあるけど、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
だし、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：＿＿＿＿＿＿＿＿し、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：そう、そう。次はっと。『＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿』う〜ん、そうねえ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

______。____________________。

A：お金だよ、お金。____________________ば____________________から、____________

________、____________________。

B：あなたにはあきれるわね。次。『____

__』家庭、仕事、趣味。そうねえ、やっぱり家庭かなあ。

A：____________________、____________________、食べるもの。

B：はい、はい。____________________________________なんだから。

聴解 II

A テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B テープを聞いて、書いてください。

この五十年、______________________________

__________。これが自分に一番の仕事なんだってね。______________________________

______________________________。これが自分に一番だと思える仕事に

つけるってのは、______________________________。お金のためじゃな

い、______________________________

ってことですよ。昔、______________________________。音楽家シュ

ーベルトの話でね、______________で______________________________

______が、______________________________

______________________________。するとそこの娘（むすめ）が聞くんです。「シュー

ベルトさん、あなたの歌は______________________________

______________、______________________________

______________」って。するとね、シューベルトが「私の歌は______________

______________________、______________________________、

______________________________」

と答える。ちょうどそこへ______________________________

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿が流れてきたんですよ。ぼくは＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿けれど、＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、お金なんかいらないから、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と思い、今までやってきたんです。

第11課　速　読

「恐(おそ)ろしいことが二、三週間のうちに起こります。あなたはもうにげることができません。けがをしたり、死んだりしたくなかったら、これと同じ文を書いて、13人の人に出してください。もし出さないと、あなたやあなたの家族は大変なことになります」

こんな気味の悪い手紙が来ることがある。出した人の名前は書いてない。信じられないとは思っても、家族にまで恐ろしいことが起こると書いてあると、すぐにすてることもできない。見も知らぬ人から来たものなら無視(むし)すればいいが、こちらの住所を知っているのだから、だれか知っている人かもしれないなどと思うと気味が悪くなる。自分の名前が相手に分からないと安心して、他人に対していたずらをしたり、怖(こわ)がらせたりするのは全(まった)く許(ゆる)すことができない。

こんなこともある。ある人が新聞に自分の意見を出した。どこで調べるのか知らないが、それから家におかしな電話や手紙がたくさん来て困ったそうだ。だれからなのかちゃんと分かるものはまだ我慢ができるのだが、そのほとんどはだれがかけたか、だれが出したか名前も住所も分からないものであったという。「もう二度とあんなことを書くな」「あやまれ」と大声を出したり、こちらが出ると何も言わずにすぐ切ってしまったりする電話、「あなたの思想(しそう)はまちがっている」と何まいも何まいも書いてある手紙、「宗教(しゅうきょう)を信じていないからだ」と言ってくるもの、中にはナイフを送ってきたものさえあり、その人はしばらく怖くて眠れなかったそうだ。

このように、毎日何気(なにげ)なく利用している電話や手紙は大変便利で、生活には必要なものだが、恐ろしいものになることもある。

内容チェック

A　文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)時々、出した人の名前が書いてない手紙が来ることがある。
2. (　　)手紙には同じ文を書いて13人に出せと書いてあった。
3. (　　)この人は、気味の悪い手紙が来たら、すぐすてるようにしている。
4. (　　)こんな手紙を出すのはよく知っている友達だけである。
5. (　　)自分の名前が分からないと思って、いたずらをすることは良くない。
6. (　　)新聞に意見を出したら、電話や手紙が来て困った人がいる。
7. (　　)新聞には住所も出ていた。
8. (　　)その人のところへ来た電話や手紙は、だれからか分からないものばかりだった。
9. (　　)怖(こわ)くて眠れなくなるような手紙もあった。
10. (　　)電話や手紙は恐(おそ)ろしいものにもなるから、気をつけなければならない。

B　次の質問に答えてください。

1. 気味の悪い手紙には何をしろと書いてありましたか。
2. この人はこの手紙に書いてあることを信じていますか。
3. どうしてすぐにこのような手紙をすてることができないのですか。
4. この手紙はだれから来たものですか。
5. 何を許(ゆる)すことができないと言っていますか。
6. 新聞に意見を出した人のところでは、どんなことが起こりましたか。
7. それは自分の名前や住所をはっきり書いたものばかりでしたか。
8. 電話ではどんなことを言われましたか。
9. 手紙にはどんなことが書いてありましたか。
10. 電話や手紙を利用せずに生活することができるとこの人は言っていますか。

第11課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　) 2. (　　　) 3. (　　　) 4. (　　　) 5. (　　　)
6. (　　　) 7. (　　　) 8. (　　　) 9. (　　　) 10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　もしもし、鈴木でございます。もしもし...もしもし。

B：　やすこ、どうしたの。＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿だわ。

B：　また。このごろ多いわね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿、おとなりの佐藤さんの家でも＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　ううん。＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿んだって。それでね、佐藤さん、この間＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿って言ったら、「フフフフッ」って＿＿＿＿＿＿＿＿＿、それから＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　警察に言ったの。

B：　それがね、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿って＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　そう。じゃあ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、今の規則では。

A：そう、じゃあ、どうすればいいの。

B：＿＿

＿＿。あら、また電話。

A：私、もういやよ。お母さん、とって。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

夜遅く＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿ことがありますよね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿電話をとると、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿。電話を切ると、またすぐにベルがなる。「＿＿＿＿＿＿＿＿」＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。これは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿。どこのだれがこんないたずらをしているのか、いたずらじゃなくて、＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、電話が＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿などと考

えたりするんです。

そのことで＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿が、このごろの小学生は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と

き、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿というんですよ。もちろん＿＿＿

＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿が、電話をかけて＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。何

回も「もしもし、もしもし」と言うのを聞いているんだそうです。＿＿＿＿＿＿＿＿

____________________というのは、人間____________________________

____けれど、______________

____。こんな______________

____、考えると恐ろし

くなります。

第12課　速　読

石川平三(いしかわへいぞう)さんのたんじょう日は、一年に一度、日本中のあちらこちらで生活をしている平三さんの子供たちの集まる日でもある。平三さんには、すぐ近くに住む65歳の長男の良三(りょうぞう)さんのほかに、男の子三人、女の子三人、全部で七人の子供がある。たんじょう日のプレゼントに囲まれた平三さんは、毎年決まって同じ話をする。子供たちを食べさせるのに忙しくて、何もしてやれなかったが、七人の子供を一人残らず大きくしたという話である。この島で七人もの子供を病気もさせずに大きくしたのは、まあこの平三だけだと言って、歯(は)のない口を大きくあけて笑うのである。

90歳になった平三さんが、今困っていることは、忘れっぽくなったことだそうである。めがねを置いた場所や、たのまれた手紙を出し忘れることなどは、毎日のことだが、一番困るのは、たんじょう日に子供たちが集まったときに、名前が思い出せないことである。良三さんを呼ぶのに、「好三(こうぞう)、太三(たいぞう)、道三(みちぞう)」と男の子の名前を全部呼んだりするのはまだいい方で、よく子供たちの御主人(しゅじん)やおくさんの名前を間違えて、呼ばれた相手を困らせてしまう。二十三人いる孫(まご)の名前は、もう、だれがだれか分からないそうだし、その子供たちの名前などは、初めから覚えようともしなかったそうだ。

それでも、五十人以上の家族、親類(しんるい)に囲まれての食事が始まるころには、平三さんもそんなことは忘れて、「おい、そこのボク、魚を残さず食べないと、大きくならないぞ」「そっちの、何ちゃんだったかな、やさいも食べなさいよ」と、自分のはしを使う暇もないほどの忙しさである。子供たちには、「一人残らず、元気で大きくするように、おまえたちもがんばって。この島で、この平三だけが．．．」と、また、いつもの話が始まる。「この話が一年でも長く聞けるように願ってます」と言うのは、長男の良三さんである。

内容チェック

A　文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)石川平三(いしかわへいぞう)さんのたんじょう日には、家族が日本中から集まる。
2. (　　)平三さんは今年65歳である。
3. (　　)子供は全部で八人である。
4. (　　)たんじょう日に平三さんは毎年違う話をするから、みんな楽しみにしている。
5. (　　)子供たちはみんな元気に大きくなった。
6. (　　)平三さんは忘れっぽくなって困っている。
7. (　　)平三さんは子供の名前だけはよく覚えている。
8. (　　)平三さんはまだまだ元気である。
9. (　　)平三さんの家族が集まったときはみんな静かに食べる。
10. (　　)長男は来年のたんじょう日にはもっと長い話を聞きたいと言っている。

B　次の質問に答えてください。

1. 子供たちが集まるのはどんなときですか。
2. みんなが集まるとき、平三さんが決まってすることは何ですか。
3. 平三さんが七人の子供に何もしてやれなかったのはどうしてですか。
4. 最近平三さんが困っていることは何ですか。
5. 平三さんはどんなことを忘れますか。
6. 一番困るのはどんなことですか。
7. 子供の名前を忘れたときにはどうしますか。
8. お孫(まご)さんの子供たちの名前は、前は覚えていましたか。
9. 平三さんは家族や親類(しんるい)と一緒に食事するときには、どうして忙しいのですか。
10. 長男は平三さんのいつもする話を聞いて、どう言っていますか。

第12課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：みなさん、おはようございます。『＿＿＿＿＿＿＿＿』＿＿＿＿＿＿＿＿。今日、4月15日金曜日は、グループの紹介です。今朝のお客様は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿松本さんです。おはようございます。

B：おはようございます。

A：この＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ですが、今＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：私たちは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿パーティーや旅行やスポーツなどを行っているんです。

A：楽しそうですね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：始めたのは今から3年前です。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、卒業前に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ということで、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　そこへ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿ですね。

B：　ええ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿っていうのを聞きまして

ね。それで。

A：　最近は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿なんかもたくさんあるよ

うですが、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。それでうちのグループでは、

来てもらった人に、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ようにしてるんです。

A：　なるほど、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。で、これからはど

んなことを。

B：　ええ、二つありまして、一つは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、もう一つは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　すばらしいですね。これからもがんばってください。今朝はどうもありがとうござい

ました。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

休みになると、私はいつも＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿。乗り始めて6年。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、いろいろなところへ行き、そして多くの人と

知り合いました。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿もいれば、＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿もいます。もちろん女の

子もおおぜいいます。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿人や、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人など、きっかけはいろいろ

ですが、みんないい人たちばかりです。それぞれ＿＿＿＿＿＿＿ため、話をしている

と、とてもおもしろいし、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。オートバイの話を始める

と、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

帰ってからも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿はしていますが、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、

なかなか会えません。でも年に一度、その機会があります。＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。毎年八月になると、日本中あちらこちらから＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。集まった人たちは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。オートバイの好きな人なら、＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。私も＿＿

＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、今年もそこに行こうと思っています。

第13課　速　読

集めたわけでもないのに、私の家には時計がたくさんある。買った時計はたった一つで、かべにかけてあるアナログ型(がた)の時計だけである。数字も大きくて見やすいし、遅れたり止まったりすることもあまりないし、音も静かなので私も妻も大変気に入っている。

あとのものは、自分から集めようと思って買い集めたのではない。ビデオや電子レンジや全自動洗濯機(せんたくき)などに付いていて、一秒(びょう)一秒数字を変えていく、あのデジタル型のものである。これが大変落ち着かない。見ているだけでせき立てられるようだ。妻はパンを焼くときでさえ、「30秒待って」とか「あと15秒」などと言う。パンが焼けたかどうかを判断するのに自分の目よりも、時計の方を大切にしているようだ。私の方はテレビを見ていても、目がすぐデジタルの数字へ行ってしまう。「7:58」が「7:59」に変わるのを見ると「あっ、あと60秒で8時か」と思ったりする。昔は、一分、一秒などという短い時間は問題にしなかったものである。それが最近ではどうでもいいようなことにまで、時間を気にしすぎているように思う。

先日、事故でマンションの電気が5分止まった。たった5分だけだったのに、そのあとは大変だった。電気がついたとき、正確(せいかく)に動いていたのはかべ掛(か)け時計(どけい)と私の腕時計(うでどけい)だけであった。私と妻は家中の時計を合わせるのにとても苦労した。時間を大切に使うための時計なのに、かえって時計に時間をとられてしまった。これでは何のために時計があるのか、分からない。このように時計に影響される生活はいつごろから始まったのだろうか。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)この人の家の時計は、みんな人からもらったものである。
2. (　　)時計はビデオや電子レンジにも付(つ)いている。
3. (　　)デジタル型(がた)のものには、いらいらさせられるとこの人は言っている。
4. (　　)おくさんは、料理をするとき時計よりも自分の判断の方を大切にしている。
5. (　　)昔は、一分、一秒(びょう)にせきたてられる生活だった。
6. (　　)今は昔よりもずっと時間を気にしていると、この人は言っている。
7. (　　)電気製品についている時計は電気が止まると大変だ。
8. (　　)かべかけ時計(どけい)は、ほかの時計が止まったときも止まらなかった。
9. (　　)時計は、時間を合わせるためにあるものだ。
10. (　　)今の生活は、時計にとても影響されていると、この人は言っている。

B 次の質問に答えてください。

1. この人が自分で買った時計は、どんな時計ですか。
2. どうしてこの時計が気に入っているのですか。
3. この人の家には、どうして時計がたくさんあるのですか。
4. デジタル型の時計を見ていると、この人はどんな気持ちになりますか。
5. おくさんが、パンが焼けたかどうかを知るのに時計を見るのはどうしてですか。
6. 最近、一分、一秒という短い時間を気にするようになってきたのは、どうしてですか。
7. 事故があったとき、家の中の時計は、全部止まってしまいましたか。
8. 何が大変だったのですか。
9. 時計は、何をするためのものだと言っていますか。
10. 「何のために時計があるのか分からない」と思ったのは、どうしてですか。

第13課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)

6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：こんにちは。ちょっと、すみません。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：ああ、そうだな。もうそろそろお昼だな。あと2、30分で。

A：はあ、そうですか。でも＿＿。

B：はははは。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。だが、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：へえ、でも、どうやって。

B：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、ほら、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：ええ、あの山の上ですね。

B：＿＿。

A：なるほど。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。でも、晴れた日ばかりじゃないでしょ。＿＿。

B： うん、そうだな。

A： やはり＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B： いいや、昔から＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿がね、全然困ったことはないよ。

A： へえ、でも・・・。

B： はははは。不思議に思うだろ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、これが。

A： はあ、しかし、どうして。

B： ＿＿

＿＿＿＿、分かるんだよ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、あと2、30分でお昼だよ。

A： はあ、はあ、はあ、なるほど。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)

6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

最後にご紹介するのは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿。アキちゃんは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

大きさや形は人間とだいたい同じ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。人間の言葉も＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿。このアキちゃん、＿＿＿＿＿＿＿、そうじ、せんたくはもちろん、

料理もします。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿と何でも作れます。＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿。またアキちゃんは車の運転もします。＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿、大変便利です。まちがい電話をかけることなどありません。

しかし、アキちゃんは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、食べ物も飲み物もいりません。いつも健康です。

もちろん＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿、あなたが＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿になっ

てくれます。もう友達や奥さんはいりません。______________________________

________、______________________________アキちゃんを、__________

______________________________、いや一人、どうぞ。

第14課　速　読

シノさんを知ったのは、ある駅でたばこを買ったときのことである。「ありがとう。すいすぎに気をつけて」そう言いながら、たばこを出してくれたシノさん——もちろん、そのときは、名前も何も知らなかったが——を、面白いオバサンだなとは思ったが、その日は急いでいたので、何も話さずにたばこをもらった。

その後二、三回、またシノさんの所でたばこを買った。私が「たばこを．．．」と言う前に「はい、これだね」と言いながら、シノさんは、私がいつもすっているたばこを目の前に出してくれた。この面白いオバサン、シノさんと話すようになったのは、このときからである。

渡部シノさん、72歳。若いときにご主人を亡くし、大切に育てた息子さんも、20年前に山へ行ったまま帰ってこない。「山が本当に好きでね。休みはいつも、山にのぼってました」と言って、シノさんが見せてくれた息子さんの写真は、20年の間にすっかり色が変わってしまっていた。

息子を亡くしてから「ないてばかりだった」シノさんが、それではいけないと思ってこの店に出るようになってから、もう18年経つ。「私の店へ来て、新聞やたばこを買ってくれるお客さんの中に、死んだ息子と同じくらいの年の人がいると、いつも昔のことを考えてかなしくなってね．．．。それから、私の店へ来てくれる人は、みんな私の息子、娘だと思うようにしたんだよ」と言うシノさん。シノさんがお客さんに声をかけ始めたのは、それからのことである。

「このごろはお客さんの方から、オバサン元気か、って声をかけてくれるんだ。オカアサンって呼んでくれる人もいるし．．．」シノさんが、そんなことを話している間にも、何人もの人が「オバサン、いつもの」と言って買い物をしていく。「オカアサン、これ、ひとつだけど」と言って、みやげを置いていく人までいた。

「主人や息子には、早く死なれてしまったけど、今は、おおぜいの家族と生活してるようなもんだよ」と、楽しそうな顔で話をするシノさんの店の周りには、明るくてあたたかい家庭が本当にあるように感じられた。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)これを書いた人が、シノさんと初めて会ったとき、シノさんの方から声をかけてきた。
2. (　　)この人は、始めは、シノさんを面白い人だとは思わなかった。
3. (　　)この人は、「はい、これだね」と言ってたばこを出してくれたときから、シノさんと話すようになった。
4. (　　)シノさんは今、一人で生活している。
5. (　　)シノさんの息子さんも御主人も山で亡くなった。
6. (　　)この人はシノさんに息子さんの写真を見せてもらったことがある。
7. (　　)シノさんは御主人を亡くしてからすぐ、駅の店で働き始めた。
8. (　　)シノさんはお客さんを自分の家族のようだと思っている。
9. (　　)お客さんの中には、シノさんを自分のお母さんのように思っている人もいる。
10. (　　)お客さんはみんなシノさんのことを「オバサン」と呼ぶ。

B 次の質問に答えてください。

1. シノさんを面白いオバサンだと思ったのは、どうしてですか。
2. シノさんと話し始めたきっかけは何でしたか。
3. 息子さんは、いつ、どこで亡くなりましたか。
4. 息子を亡くしてから、二年ぐらいシノさんは何をしていましたか。
5. 店で働き始めたころ、どんなときかなしくなりましたか。
6. シノさんはどんな気持ちでお客さんに声をかけ始めましたか。
7. このごろでは、お客さんの方からシノさんに何をするようになりましたか。
8. お客さんは、シノさんのことを何と呼びますか。
9. シノさんは、今の生活について何と言っていますか。
10. これを書いた人はシノさんの店のことをどう思っていますか。

第14課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　) 2. (　　) 3. (　　) 4. (　　) 5. (　　)
6. (　　) 7. (　　) 8. (　　) 9. (　　) 10. (　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：わあ、きれいな海。

B：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：あら、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：おばさん、何かとれるんですか。

C：え、ああ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：じゃ．．．あ、わかった。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。このごろ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：そうか。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

C：ああ、いや、それもそうなんだけどね。

A：あら、違うんですか。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

C：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　じゃあ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿。

C：　いや、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　え。

C：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿かねえ。ここで＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。遠いところから何日もかかって、＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　ふうん。

C：　その後も何回かあってね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、外国からのものまでね。

B：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

C：　返事を書いて．．．それで＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　へえ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿けど、＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　でも夢があるわ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

聴　解 II

A テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　) 2. (　　　) 3. (　　　) 4. (　　　) 5. (　　　)
6. (　　　) 7. (　　　) 8. (　　　) 9. (　　　) 10. (　　　)

B テープを聞いて、書いてください。

今日から＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿皆さん、私は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿、皆さんにお願いしたいことが一つありま

す。それは「＿＿＿＿＿＿＿＿」ということです。

ずいぶん昔のことになりますが、戦争のすぐあと、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿人や、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

子供が日本中におおぜいいました。ある朝、私は大阪駅の前で＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿を見ました。＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、青い顔をして、まるで病気のようです。私はその子

供に＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿のか、聞

いてみようと思いました。しかし、すぐに「いや、＿＿＿＿＿＿＿＿。家にだって＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿」と考えて何も言いませんでした。けれども＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿また行って

みました。駅前に行ったとき、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。あの

とき、もし話しかけていたら、________________________

________________、人生の________________________

____________________。私は________________________

______________________のだと、今でも忘れることができないのです。

どうか皆さんは、どこでだれに会っても、________________

____。これが私からのお願いです。

第15課　速　読

この間、友達のスミスさんとおまつりを見に行った。一体どこからこんなにたくさんの人が集まるのかと思うほど、人また人だった。

にぎやかな町を歩きながら、日本人は本当に規律(きりつ)正しい人たちなんだなあと思った。こんな狭い所に動くこともできないほどの人が集まっているのに、みんな静かにゆっくりと歩いている。お酒を飲んでいる人もいるのに、大騒ぎもしていない。だれもけんかを始めない。確かにけいかんもいたが、私の国ブラジルではこんなことは考えられない。どこかでけんかが始まり、大変なことになるだろう。

私がこんなことを言うと、スミスさんはそれは違う、日本人はいつも自分をころすことに慣れているのだと言う。最近、スミスさんはこんな経験をしたそうだ。

ある日、スミスさんが町を歩いていると、7､8人の女子高校生が向こうから来るのが見えた。彼女たちは学校で決められた服を着て、ボールを持っていた。大きな声で楽しそうに話していたが、そこへ先輩が来ると、彼女たちの態度(たいど)は急に変わった。話をやめ、「失礼します」と大声で言って、ふかく頭を下げた。スミスさんはこの変わり方を見て、日本人の規律正しさは上下(じょうげ)関係という秩序(ちつじょ)を重く見るからだと思ったそうだ。

スミスさんによると、こういうことはおとなの社会を見ても分かるそうだ。日本のサラリーマンは、遅くまで会社で働いて、家族と一緒にいる時間が少ない。これは、一人一人の生活よりも自分の属(ぞく)する社会のことをさきに考えるからだそうだ。日本は経済的に豊かになって会社はどんどん大きくなっているのに、生活はそれほど豊かになっていない。それでも、人々が我慢して働いているのは、自分をころすことに慣らされているからというわけだ。だからまつりのときも、秩序を守り、けんかもせず、静かに歩いているのだそうだ。

私は、スミスさんは少し厳(きび)しすぎるのではないかと思ったが、よく考えて見るとそうとも言えそうだ。いろいろ考えさせられた一日だった。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)これを書いた人は、この間、友達とおまつりを見に行った。
2. (　　)これを書いた人は町を歩きながら、規律(きりつ)を守らない日本人に驚いた。
3. (　　)日本ではおまつりを見に来る人の中に、お酒を飲んでいる人はいない。
4. (　　)これを書いた人の国でも、おおぜい人が集まったときには、規律は守られる。
5. (　　)スミスさんは、日本人はもっと上下(じょうげ)関係を大切にした方がいいと言った。
6. (　　)ある日、スミスさんは7､8人の大学生に会った。
7. (　　)スミスさんは、規律正しさは上下関係と関係あると言った。
8. (　　)スミスさんは、学生社会もサラリーマン社会も同じだと言った。
9. (　　)日本のサラリーマンは、自分の生活を一番大切に考えている。
10. (　　)これを書いた人はスミスさんの考えは厳(きび)しいが正しいかもしれないと思っている。

B 次の質問に答えてください。

1. この人はおまつりを見に来た人を見て、どう思いましたか。
2. 自分の国だったら、どうだと言っていますか。
3. この人の意見にスミスさんは何と言いましたか。
4. スミスさんはある日どんな人たちに出会いましたか。
5. その人たちは先輩を見てどう変わりましたか。
6. それを見て、スミスさんはどう思いましたか。
7. スミスさんは、サラリーマンについて何と言っていますか。
8. 人々が我慢をして働くのはどうしてだと言っていますか。
9. 日本は国の経済も、人々の生活も豊かになったと言っていますか。
10. この人はスミスさんの考えについてどう思いましたか。

第15課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　　）2.（　　　）3.（　　　）4.（　　　）5.（　　　）
6.（　　　）7.（　　　）8.（　　　）9.（　　　）10.（　　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　さあさ、どうぞこちらへ。

B：　わあ、すごい。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　お客様、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿。また＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、ありがとうございます。＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　どうもありがとう。

A：　私、＿＿＿＿＿＿＿＿の田中と申します。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　クレメンチェフです。お世話になります。

A：　クレ...あの、＿＿＿＿＿＿＿＿。まあ、本当に日本語がお上手ですのね。＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　へえ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿、「外人」という言葉にも＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿。

A：　何か...いけませんでしたでしょうか。

B： いや、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。でも最初のころは＿＿

＿＿＿

って思いましたが。

A： はあ、いえ、そんなつもりじゃ。では＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B： ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A： えっと、あの...

B： クレメンチェフです。

A： は、はい、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

私は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。ウチとかソトとか言うの、あれ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。例えばですね、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、よく出てくるんですよ、「＿＿＿＿＿＿＿＿＿」＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。「よそ」というのは＿＿＿＿＿＿＿＿＿、ほかの町、＿＿。これがまた＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。ところが、この村、町の人々ってのが＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿って言うと、そうでもない。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。知っている人たちの間では、そう、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。楽しくやってる。その中で、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、もう大変。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ってことで、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

__________っていう話なんかはですね、____________________________________、映画やテレビだけじゃなくて、____。

第16課　速　読

佐藤一郎(さとういちろう)さんはある自動車会社に勤める38歳のサラリーマンで、おくさんと子供二人の四人家族である。

一週間前、佐藤さんは当たるはずがないと思っていた一戸建ての公団住宅が当たり、会社の狭いアパートを出て、庭のある家に住めることになった。おくさんも二人の子供も大喜びである。ところが、佐藤さんはあまりうれしそうな顔をしていない。喜んでばかりはいられないわけがあるのだ。

その一つは、これから30年間続く家のローンである。この家が本当に佐藤さんのものになるのは30年後なのだ。それからもう一つ、今まで一時間だった通勤時間が二時間になることだ。朝6時半には家を出なければならない。家へ帰るのもこれまで以上に遅くなる。佐藤さんがおくさんや子供たちほど明るくないのも無理はない。

佐藤さんの勤める会社は世界的にも有名な会社で、佐藤さんの給料も少なくない。それでも、都心から二時間も離れた所に家一けん買うのがやっとなのである。一方、会社はどんどん大きくなって、新しい立派なビルを次から次へと建てている。

佐藤さんは時々会社のお客を接待することがある。そのときは自分のお金では行かないような店にお客さんを案内する。いつもは飲めないようなお酒を飲んで店を出るときは、お金持ちになったような気がする。そんな佐藤さんが自分でお金を払って飲む所は、会社の近くの安い店に決まっている。仕事が早く終わった日は、そこで冷たいビールでも飲みながら、一日のストレスを解消(かいしょう)するのである。

佐藤さんは時々宝(たから)くじを買う。おくさんは「当たるはずはないわよ」と言うが、「夢を買っているんだよ、夢を」と言うことにしている。今年は公団住宅にも当たったので、もしかすると当たるかもしれないと心の中で思っている。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)佐藤(さとう)さんの家族は、前は狭い一戸建てに住んでいた。
2. (　　)今度のアパートは、前のより広い。
3. (　　)佐藤さんも家族もみんな大喜びだ。
4. (　　)佐藤さんは、これから長い間ローンを払わなければならない。
5. (　　)佐藤さんは、これまでよりも一時間通勤時間が長くなる。
6. (　　)サラリーマンが都心に家を買うのは難しい。
7. (　　)佐藤さんの会社は小さいから、小さい家しか買えない。
8. (　　)接待するときは、いつもは飲めないようなお酒が飲める。
9. (　　)佐藤さんはストレス解消(かいしょう)のために行くのは、会社の近くの安い店である。
10. (　　)佐藤さんは一年に一回、宝(たから)くじを買う。

B 次の質問に答えてください。

1. 佐藤さんはどこに勤めていますか。
2. 佐藤さんがあまりうれしそうな顔をしていないのは、どうしてですか。
3. 佐藤さんがローンを全部払い終わるのは、佐藤さんが何歳のときですか。
4. 佐藤さんの新しい家はどんな家ですか。
5. 新しい家はどんなところにありますか。
6. 佐藤さんの会社は、どうですか。
7. 接待をするときは、どんなところへ行きますか。
8. そんなとき、佐藤さんはどんな気がしますか。
9. どうやって一日のストレスを解消するのですか。
10. 佐藤さんが宝くじを買うのは、どうしてだと思いますか。

第16課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）　2.（　　）　3.（　　）　4.（　　）　5.（　　）
6.（　　）　7.（　　）　8.（　　）　9.（　　）　10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　お父さん、まだ。

B：　おっ、＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿。

A：　もう、ほんとに。お父さん、＿＿＿＿＿＿＿。

C：　はい、もしもし。はい、そうです。ええ、おりますが。＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。．．．ああ、いいえ、こちらこそ、いつもお世話になって。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。．．．あなた、電話よ。田中さん。

B：　うん、今行く。．．．もしもし、どうした。うん、うん。＿＿＿＿＿＿＿。うん、うん。＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿。じゃ、＿＿＿＿＿＿＿。いや、いいんだ。＿＿＿＿＿＿＿。じゃ、11時に。

C：　あなた、どうしたの。

B：　何でもない。＿＿＿＿＿＿＿。

A：　出かけるって、お父さん。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　すまん。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。また今度、そう、来週にしよう。

A: ええ、また。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B: ほんとうにすまん。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、そのあと

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

な、それならいいだろ。

A: やだ。そんなの、やだ。

B: すまん、ほんとうに。...おい、＿＿＿＿＿＿＿＿。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

　________________友田でございます。私は社会的には________________ということになっているのですが、________________________________。まあ、本当はサラリーマンのことは知らないんですよ。________________________________。できないですよ。ですから最初は________________________________、この方がまた熱心な、一生懸命な方で、________________、ついつい「________」________________。

　けれども、そうは言ったものの、________________________________。私はサラリーマンの話はたくさん書きましたが、みんな________________________________。

それで考えたんです。「________________」________________________________て、「明るいサラリーマン」ということで、今日

は一つ______________________________

____、そして、その中に何かおもしろい話があれば、それを______________

______________________________というわけです。ですから、どう

ぞそのつもりでお聞きになり、______________________________

______________。

第17課　速　読

よく「O型の人間は仲間意識が強い」「A型は慎重である」というように血液型で人間を判断する人がいるが、私は大変危険なことだと思う。B型人間にも「楽天的」でない人はたくさんいるし、AB型人間で「物事を全体的に考えられる」とは思えない人を私はたくさん知っている。

私が血液型性格判断というものを信じないのは、私の周りにそれに合わない人がたくさんいるからばかりではなく、教師としての私の経験によるものである。私は教師になってもうすぐ30年になる。この間、私が一番怖いと思ったのは、人間をタイプに分けて見てしまうという「職業病」である。毎年、たくさんの学生を相手にしていると、中には似たような顔をした者、性格がよく似ていると思えるような者がたくさんいる。そして、一度そう思ってしまうと、知らず知らずのうちにその学生と、その学生に似ていると思った学生とを同じように見てしまう。もちろん全く別の人間なのだから、二人には全然違う良さ、悪さがあるはずなのだが、似ているところばかりを見てしまい、違うところが見えなくなってしまうことが多い。

自分の判断がどんなにいいかげんなものかということは、自分が似ていると思った学生のことを同僚の教師と話してみるとよく分かる。たいてい、「そうだろうか」「全然似てないよ」と反対されてしまう。ところが、その同僚たちも私に「あの学生は去年卒業した××君に似ていないか」などとたずねてくる。そんなとき、私の返事は決まって「どこが?」である。教師でなくても、こんな経験をしたことがある人は、少なくないはずである。

血液型や、その他の分類を知らなくても、人間は自分の周りの人間をいろいろな型に当てはめて考える。「第一印象」という言葉も、人間のそうした考えをよく表しているのではないだろうか。「感じのいい人」「感じの悪い人」などと簡単に言うけれど、「第一印象」とは、前に会った人の印象に大きく影響されて作られるものではないだろうか。もしそうだとすると、これは大変危険なことだと思う。まず第一に、自分が前に会った人の数などはわずかなものである。また、その人たちの印象というのも大変いいかげんなものである。そんな情報によって人をタイプに分けて判断しているとしたら、これは大変怖いこと

ではないだろうか。また、他人からも自分がそんないいかげんな情報と印象で判断されていると思うと、本当に怖い。私は、人間をタイプに分けるような話はどれも信じたくない。タイプに分けてしまうと、相手の本当の性格が見えなくなると思うからだ。また、自分がタイプに分けられるのも嫌だからである。

内容チェック

A　文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)これを書いた人は教師である。
2. (　　)この人は血液型性格(けつえきがたせいかく)判断を信じていない。
3. (　　)この人は血液型で人を判断するのは危険(きけん)だと思っている。
4. (　　)血液型が同じなら顔も似ている。
5. (　　)この人は人間をタイプに分けてしまうことを教師の「職業病」だと言っている。
6. (　　)この人は顔が似ていると性格まで同じだと思っている。
7. (　　)人間は周りの人をいろいろな型に当てはめて考えている。
8. (　　)学生について、この人と同僚(どうりょう)の意見はいつも同じだ。
9. (　　)この人は、「第一印象(いんしょう)」は正しいことが多いと思っている。
10. (　　)この人は他人に血液型などで分類されたくないと思っている。

B　次の質問に答えてください。

1. この人はなぜ血液型性格判断を信じていないのですか。
2. 教師の「職業病」というのはどういうことですか。
3. 似たような顔の学生を見ると、この人はどのように考えてしまいますか。
4. どんなことで自分の判断がいいかげんだと分かるのですか。
5. 血液型以外で、人を型に当てはめて考えることがありますか。
6. 「第一印象」はどんなことによってできあがることが多いのですか。
7. 「第一印象」というのは間違いのないものなのですか。
8. それはどうしてですか。
9. 何によって人を判断することが怖いと言っていますか。
10. この人が人間をタイプに分けたくないのはどうしてですか。

第17課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　ねえ、まさこ。ウサギ型？　カメ型？

B：　なあに、それ。

A：　やだあ、＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿。

C：　ああ、ウサギのように＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿か、それともカメのように＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ってことだね。

A：　そうそう。

C：　まさこさんはカメ型だな。

B：　そう。

A：　そうね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿。やすひろ君は。

C：　ぼくはウサギ型。＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　やすひろ君、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。それに＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

C： うん、そのとおりだよ。

B： どうして分かるの。

A： ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B： ふうん。

C： ゆかりさんは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、A型だな。それに一番上だろ。

A： 当たった。

B： でも＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A： そりゃ、人間＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿。まさこの性格はカメ型で、O型で...

B： カメ型。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿はいないの。

聴解 II

A テープを聞いて、答えてください。

1. (　　) 2. (　　) 3. (　　) 4. (　　) 5. (　　)
6. (　　) 7. (　　) 8. (　　) 9. (　　) 10. (　　)

B テープを聞いて、書いてください。

最近、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿よく言われている問題があるんです。それは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿っていう問題です。つまり、こういうこと

ができるから社長なんだとか、反対に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とか、いうことな

んですね。これが＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿。アメリカの社長は＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。自分の＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、反対する人に勝って＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。ところが＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ですね。

日本の会社には、ちょうど父親のように＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。どんなに力が

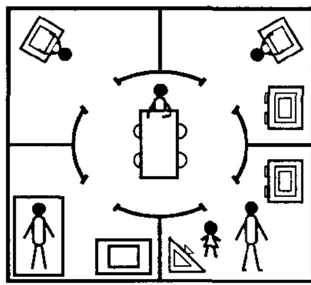
あって仕事のできる人でも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

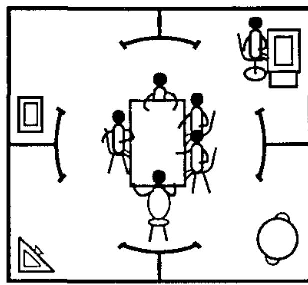
____。「みんなで決めたんだから__________________________________」というようなタイプの社長が日本型ということになるんでしょうか。____________________________________

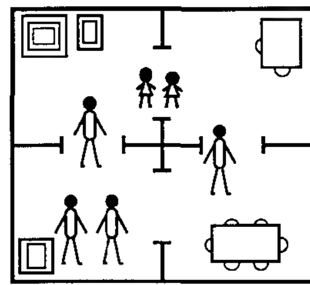
____けれど、なかなかね。____

__________________________。

第18課　速　読


A


B


C

これは、一軒(いっけん)の家の中で家族がどのように動いているかを三つの型に分類し、絵に表したものである。Aをイギリス型、Bをイタリア型、Cを日本型と呼んでおこう。一つ一つを見ていくと、イギリス型の家族はそれぞれに独立した部屋を持ち、個人の場所を大切にしている。団らんの場はあるが、そこにみんなが集まるのは食事やお茶の一時だけである。それは家族がその日あったことを語(かた)り合う大切な時間である。家族であっても、そこはみんなが集まる所なのだから、一人だけで自分の部屋にいるときと同じようにはすべきではないと考えられている。そこは世界で一番小さな公の場なのである。

イタリア型の家庭の中心は広いリビングルーム。みんなが集まり、楽しくにぎやかに語り合う。家族だけでなく、友達も仲間も一緒になって、食べたり飲んだり歌ったりするし、話に夢中になってけんかになることもある。それでもみんな一緒にいることが好きなのだ。一人になりたかったら、団らんの場を離れて自分の部屋に帰ればよい。そこは一人だけの世界である。

では日本型はどうであろうか。どの部屋もそれぞれにみんなのために使われている。こちらの部屋では食事をし、そちらの部屋ではみんなでこたつを囲み、あちらの部屋では夜になるとふとんを出して休む。今ではこの生活のしかたはだいぶ変わってきたが、まだイギリス型、イタリア型ほど個人の場と公の場がはっきりと分けられてはいないようだ。

A型、B型、C型と人の動き方が違っているのだから、コミュニケーションのしかたも同じではない。公の場での礼儀を大切にするのはイギリス型である。小さな子供たちも礼儀を守らなかったら、厳しくしかられる。話すことが何よりも好きで、けんかさえも楽しむことができるのはイタリア型。自分の感情を自由に生き生きと言葉にできる人々である。それに対して日本型はどうで

あろうか。みんなが一緒に動いている中では個人の考えをあまり強く出すと、周りの人と合わなくなって自分が困る。自分のいる場がなくなってしまったら大変だからだ。長い間、このような生活の型を持ち続けてきた日本人が、個人と公の違いをはっきりと分けて考えられるようになるまでには、まだ時間がかかりそうである。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)個人の場所を大切に考えているのはイギリス型だ。
2. (　　)イギリス人は自分の部屋を世界で一番小さな公の場と考えている。
3. (　　)イタリア型では、個人の場所はない。
4. (　　)日本型のリビングルームはイギリス型と同じである。
5. (　　)イタリア人はにぎやかに話すのが好きだ。
6. (　　)日本型は、個人と公の場所がはっきり分けられている。
7. (　　)公の場所を一番大きく取っているのはイタリア型だ。
8. (　　)イギリス人は礼儀を大切にする。
9. (　　)日本人があまり意見をはっきり言わないのは、部屋の使い方や分け方にも関係がある。
10. (　　)部屋の分け方で、そこに暮らしている人々のコミュニケーションのしかたも違ってくる。

B 次の質問に答えてください。

1. イギリス人が大切にしているのはどんな場所ですか。
2. イギリス人は家族としてはどんな時間を大切に考えていますか。
3. イギリス人が公の場の礼儀を重んじるのはなぜですか。
4. イタリア型のリビングルームが一番大きいのはどうしてですか。
5. イタリア人は、そこでみんなどのように時間を過ごしますか。
6. 日本型ではそれぞれの部屋はだれのために使われますか。
7. 日本人が自分の考えを強く出さないのは、なぜですか。
8. 日本型は今も昔も同じ部屋の使い方をしていますか。
9. 日本人はどうして個人と公の違いを分けて考えられないのですか。
10. A、B、C それぞれの型が違ったコミュニケーションのしかたをするのはどうしてですか。

第18課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）　2.（　　）　3.（　　）　4.（　　）　5.（　　）
6.（　　）　7.（　　）　8.（　　）　9.（　　）　10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　ただいま。ああ、寒い、寒い。

B：　まあ、ちょうどよかった。今、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　あら、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　お父さんは＿＿＿＿＿＿＿＿、ゆうすけは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。それにゆみは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　ああ、あったかい。やっぱりこたつはいいわね。

B：　あんたは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、こたつを離れなかったものね。

A：　だって、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。あんたたち、みんな大好きで＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　本当、本当。＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B： みんなが＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、足も長くなって、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿って、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。み

んなが＿＿＿

＿＿＿＿＿＿。

A： でも、みんなもう子供じゃないんだし。

B： それは分かるけど。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A： ＿＿＿

＿＿＿、疲れちゃうわよ。

B： とうとう、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

聴　解 II

A テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B テープを聞いて、書いください。

続いて、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。「初めてお手紙を書きます。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。ちょっと前に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ので、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿てこれを書きました。うちの父は＿＿＿＿＿＿＿＿、母も＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ですが、先日＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ために聞いていたのですが、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿というので、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。次の日、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿母からもしかられて大変でした。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ので、『＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿』ということになり、その夜、三人一緒に聞いてみたんです。初めは『＿＿＿＿＿＿＿＿』＿＿＿＿＿＿＿＿が、途中でおもしろいことになったんです。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

____。______________________

____、二人とも大喜びをして、熱心に

聞き始めました。そして『____』ですっ

て。そのときから、時々一緒に聞くようになりました。これからも____________________

________________________。父と母に____。

16歳の高校生より」

第19課　速　読

会社の若い女の子たちに、「課長は何がお嫌いですか」とたずねられたり、同僚と酒を飲んでいるときに「嫌いなものは」と聞かれたりすると、「私はバナナ」と必（かなら）ず答える。本当にバナナが嫌いなのである。見るのも嫌だ。

弟が亡くなって、もうすぐ30年になる。大きな病気に入院をしていた弟が「バナナが食べたい」と言った。そのころバナナは高くて、なかなか食べられなかった。自分の入院のために両親が苦労をしていることを知っていた弟は、「何か食べたいものは」とたずねられても「ない」と答えていた。その弟が病院の部屋で私と二人だけになったとき「バナナが食べたい」と言った。

次の日から、私は両親にも弟にも言わないでアルバイトを始めた。といっても高校を休むことはできないから、仕事ができるのは朝と夜だけだ。急に早起きをするようになった理由を聞く両親には、学校のクラブで朝走ることになったからとうそを言って、1か月一生懸命働いた。弟に好きなだけバナナを食べさせてやろう、きっとバナナを見たらうれしそうな顔をするだろう、そう思いながらアルバイトを続けた。給料日には、もらった給料を全部持ってデパートへ行った。きれいに飾られたくだもの売り場で20本ばかりのバナナを買って、まっすぐ病院へ向かった。「それ、どうしたの」不思議そうな顔でたずねる弟に、「バナナが食べたいと言ったから、アルバイトをして...」と説明をした。話を聞いた弟は、「ありがとう」と小さな声で言ってふとんをかぶってしまった。どうしていいか分からなくなった私が、「食べないのか」と聞くと、「うん。あとで」と弟は答えた。

それから三日も経たないうちに、弟は帰らぬ人になってしまった。学校の先生から「すぐ病院へ」と言われて行ってみると、もう弟は亡くなっていた。亡くなる前に「お兄（にい）ちゃんが買ってくれた」とうれしそうな顔で、少しだけバナナを食べたそうである。「『おいしい、おいしい』何度もそう言っていたよ」母から聞かされた言葉が、今でも私の耳に残っている。

そのときから、私はバナナが嫌いになった。「嫌いなものは」と聞かれると、「バナナ」と答えるようになった。

内容チェック

A　文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)この人は子供のころからバナナが嫌いだった。
2. (　　)この人の弟が亡くなって30年近い。
3. (　　)弟が亡くなったとき、この人は学生だった。
4. (　　)病気の弟はいろいろな食べ物をほしがった。
5. (　　)この人は毎朝のクラブの練習で走っていた。
6. (　　)この人は弟のためにアルバイトをした。
7. (　　)アルバイトは夜の仕事だった。
8. (　　)アルバイトのお金をもらった日に弟は亡くなった。
9. (　　)この人は弟が亡くなるとき、そばにいなかった。
10. (　　)この人はバナナを見ると、弟と一緒に病院でバナナを食べたことを思い出す。

B　次の質問に答えてください。

1. この人は何が嫌いですか。
2. いつから嫌いになったのですか。
3. 弟はどうして食べたいものはないと言っていたのでしょうか。
4. 弟が本当はバナナをほしがっていることが分かったのはどうしてですか。
5. それでこの人はどんなことを考えたのですか。
6. この人はいつアルバイトをしましたか。
7. 両親にどんなことを言ってアルバイトに行きましたか。
8. この人はお金をもらって、どうしましたか。
9. バナナを見たとき、弟はどうしましたか。
10. 弟は亡くなる前にどうしましたか。

第19課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：だれだ。

B：きゃあ、いたい。

A：だれだ。

B：____

____。

A：なんだ、分かったのか。

C：________________________。

B：違うよ、__________、__________。

A：そうか。______________________________

______。

C：________________________。

B：ねえ、それ、なあに。

A：おみやげだよ。__________。

B：花火。ねえ、________________________。

A：____

____。こんなの、知ってるか。____。

____

________________________________。だれが________________________

_______________、競争してね。

C:　ぼくたちもやろう。

B:　やろう、やろう。

——ごはんですよ。

A:　今行くよ。じゃ、あとでしよう。う～ん、________________________________

________。

B:　________________、________________。

A:　あれ、ほんとうだ。________________、お前は。

B:　ううん。だって________________。

A、C:　なあんだ。ははは. . .

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　) 2. (　　　) 3. (　　　) 4. (　　　) 5. (　　　)
6. (　　　) 7. (　　　) 8. (　　　) 9. (　　　) 10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

「マリコ、津慶、知代子、＿＿。お父さんは本当に残念だ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿。今、5分たった。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。どうか神様、助けてください。. . . ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。さようなら。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。本当に今までは幸せな人生だったと感謝している」

これは河口さんという人の遺書です。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、その事故で亡くなった河口さんが、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。この事故は＿＿。乗っていた人たちは、＿＿でしょう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とは、思ってもいなかったでしょう。

私たちは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、一体何を思うのでしょう

か。 ____。

家族のことでしょうか。 ________________________顔、 ________

________________________笑顔、 ________________________

__________顔でしょうか。

一瞬のうちに、 ________________________________

__________が、 ________________________________

__________が、 ________________________________

__________でしょう。

第20課　速　読

テレビが一般に普及(ふきゅう)し始めたとき、新聞はなくなるのではないか、テレビに取って代(か)わられるのではないかということがよく言われた。ところがテレビの普及にもかかわらず、現在(げんざい)日本は世界でも一、二を争うほどと言ってもよいくらい、新聞がよく読まれている国なのである。事実、1984年の調べでは、一年間に発行(はっこう)された新聞の数は世界で二番目、人口千人に対して見れば世界で一番であった。

どうして新聞はこんなに読まれているのであろうか。テレビは出来事が起きると同時に世界中でそれを目にすることができ、まるでその場にいるかのような感じを持つことができるが、出来事は次々と流れていき、自分の手に物として残らない。これに対して新聞は、時間は少し遅れるが、起こったことを正確に詳しく伝えることができるし、記事に十分な説明をつけることもできる。自分の手に残るから、何度も繰り返し読むことができ、いつでもどこでも取り出すことができる。映像(えいぞう)社会と言われる現代でも、やはりまだ書いたものへの信頼は昔と変わらぬほど大きいのであろう。人々はテレビで刻々(こくこく)と映される出来事を追うことはできるが、それだけでは安心できず、そのあとでもう一度、新聞を読むことになるのである。何よりも新聞は長く報道の中心であったし、人々の信頼も大きい。それが新聞の発行される数が少なくならない理由であろう。

また、日本の新聞発行数(すう)が多いのは、一般新聞としての性格が強いからだという説明もある。ヨーロッパでは発行される数は少ないが、一部の人のための内容(ないよう)の高い新聞と、一般の人々のための数の多い新聞とにはっきりと分かれている。ところが、日本で400万部から900万部発行される新聞は、内容もだれが読んでもおかしいものではないし、一般の人々の新聞としての性格も強く持っている。これは、朝夕家まで直接(ちょくせつ)持ってきてくれることとも関係があろう。同じ新聞を多くの家庭で読むから、直接持ってきてくれるわけだし、また、もしわざわざ買いに出るのなら、もう少し新聞を読む人の数は少なくなるだろうと言うのである。ある調べでは、新聞を毎日読んでいる人は人口全体の60～70%で、読む時間は40～50分ほどという結果が出た。現代人にとっていかに

新聞がなくてはならないものか、このことからもよく分かる。

面白いことに、新聞の中で一番よく読まれているのは、ラジオ・テレビの番組案内のページである。つまり、テレビの情報を新聞で見ているというわけになる。これなどは、全体を目にすることができ、情報を選ぶことができるという新聞の性質をよく表しているものであろう。テレビも新聞もそれぞれに変化しているが、人々は一方を捨てて、もう一方を取るのではなく、その時々によってどちらかを選び、日常（にちじょう）生活に生かしているのである。

内容チェック

A　文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)昔、テレビが普及(ふきゅう)したら新聞はなくなると思われていた。
2. (　　)日本では新聞の発行(はっこう)される数が多い。
3. (　　)新聞の記事は読む人の手に残らない。
4. (　　)テレビの映像(えいぞう)だけでは人々は満足できない。
5. (　　)新聞はあまり信頼されていない。
6. (　　)ヨーロッパでは、みんなが同じ新聞を読んでいる。
7. (　　)日本では新聞は家まで持ってきてくれる。
8. (　　)現代の日本人にとって新聞はなくてはならないものだ。
9. (　　)新聞の中で、ラジオ・テレビ番組の案内はほとんど読まれていない。
10. (　　)将来(しょうらい)、新聞もテレビも必要なくなるだろう。

B　次の質問に答えてください。

1. テレビが普及し始めたとき、どんなことがよく言われましたか。
2. テレビの普及によって、新聞はどうなりましたか。
3. テレビのいい点はどんなところですか。悪い点はどんなところですか。
4. 新聞はテレビと比べて、どんないいところがありますか。
5. 新聞はテレビと比べて、どんなところが不便ですか。
6. どうして新聞の数は少なくならないのですか。
7. ヨーロッパではどのような新聞がありますか。
8. 日本ではどうですか。
9. 日本の新聞が多くの人に読まれるのはなぜですか。
10. 人々は今、日常(にちじょう)生活のなかで、新聞とテレビをどのように利用していますか。

第20課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：はあい。

B：すみません、テレビヤマ...あれ、ぼく一人。お母さんは。

A：あのね、今、＿＿＿＿＿＿＿＿。すぐ帰るって。

B：あっ、そう。ねえ、ぼく、お名前は。＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：おっ、えらいな。かずたか君か。ねえ、かずたか君、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：分からない。

B：＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：うん、やさしいよ。＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：ふうん、そう。＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿。おい、何してる。＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：ねえ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：さあね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿。

C：　やめてください。

B：　あっ、奥さんですね。テレビヤマトです。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、

ちょっと、お子さんに。

C：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿。

B：　ご主人、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿。それに会社でも．．．

C：　どうぞお帰りください。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　そんなこと言わないで。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、やは

り、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿。

C：　もう、やめてください、お願いですから。

B：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿。

C：　お願い、もうやめて。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：沢田さんは＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿、ずいぶん＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿が、今日は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、少し＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿・＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：それは、はっきりしているんです。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、それを＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。私は＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：なるほど。次に、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が、実は55歳の男性の方
から＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：ほう。

A：まあ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、苦しんでいるときに、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿。名前やお金のためではないかと、まあ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿。

B：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。しかし何と言うんですか、

「今、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿」っていうか、まあ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿。

A：　はあ。

B：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿が、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。ただ、＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

第21課 速 読

先日、「私たちの地球を守ろう」という集まりに初めて出てみた。いろいろな国の人から、それぞれの国で起こっている問題についての話があった。砂漠化が広がっている、二酸化炭素やフロンガスによって地球の温度が上がっている、緑がなくなっているなど、今何か対策を立てなければ手遅れになる問題がたくさんあることが分かった。

この集まりに出るまでも、私自身、これらの問題に全然関心がなかったというわけではない。酸性雨は恐ろしく、またフロンガスが悪いと言われれば、それも使わないようにはしていたが、それでフロンガスが少なくなるとも，地球のために役に立つとも思えなかった。私一人の力で何が変わるというのだろう。本当に危なくなればだれかが何とかするだろう。結局は、どうすることもできなくなる前には必ずだれかが解決方法を見つけてくれるはずだから、そんなに深刻に考えなくても・・・。だれだってそう思っているんだろうと、そんなふうに考えていた。

様々な問題があることは分かってはいるが、それでは何をすればいいのかと言われるとあまりに問題が大きすぎて、自分たちには何もできないと思っていた。しかし、一枚の紙を大切にするというような小さなことが、地球を守ることとどう結び付くかが分かり、それを実際に行っている人々が世界中にたくさんいるということを知って私は驚き、自分にも何かできるのではないかと思うようになった。「私たちは何をしたらいいのだろうか」、「何をすべきか考えてみよう」で終わらず、世界中の人と力を合わせて何かをやってみよう、そんな気持ちになった。この何年かの間、専門家が研究を続け、データが集められ、あちらこちらで会議も開かれている。マスコミの報道も増え、多くの人が関心を持ち、話し合いを続けている。そういう中でこそ、いろいろな解決方法も生まれてくるのだと思う。今まで関心を持とうとし、少しずつ考え方も変わってきてはいたのだが、実際に何かをしようという強い気持ちを持ったのはこれが初めてのことだし、何かできそうな気もしている。

人間が生きていくには、エネルギーの消費を伴うことはしかたのないことで、このまま何もしなければ地球環境はどんどん悪くなる。それを少しでも

良くしていくには、まず、小さくてもいいからもっと関心を持つことではないだろうか。「山動く」と言う。小さな関心の集まりで、世の中が動いていくような気がする。一人で何かやっても意味がないと思っていた私が持った小さな関心、この「ちょっと何かやってみようか」という気持ちが続けば、何かの力にはなるのではないか。そう考えると、何千年かくらいは、努力によって何とか地球の環境をこれ以上壊さずに人間は生き続けられるように思えてくる。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)先日出た集まりで、今地球に多くの問題があることが分かった。
2. (　　)今までこのような会議に出たことがなかった。
3. (　　)この集まりには外国から参加(さんか)した人もいた。
4. (　　)この集まりに出て、地球のために何かができそうだと思った。
5. (　　)集まりに出てみて酸性雨(さんせいう)が恐ろしいことが初めて分かった。
6. (　　)この人は以前から地球を守ることには強い関心があった。
7. (　　)この集まりに出る前には地球を守ろうなどとは考えたことがなかった。
8. (　　)「山を動かす」のは無理だということが分かった。
9. (　　)地球は、今何かしなければどんどん破壊(はかい)されてしまう。
10. (　　)一人一人の関心を集めても世の中は変わらない。

B 次の質問に答えてください。

1. どんな会議に出ましたか。
2. 今、地球にはどんな問題が起こっていますか。
3. この人はどんなことに注意して生活していますか。
4. どうしてこの人は今まで環境(かんきょう)問題にあまり関心を持ちませんでしたか。
5. 自分一人では何もできないと思っていたのはどうしてですか。
6. この集まりに出て、これまでの考えはどう変わりましたか。
7. どんな人たちを知って驚いたのですか。
8. 現在世界ではどんな努力が続けられていますか。
9. 地球環境をこれ以上悪くしないためには何が必要ですか。
10. 「山動く」とはどんな意味ですか。

第21課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）　2.（　　）　3.（　　）　4.（　　）　5.（　　）
6.（　　）　7.（　　）　8.（　　）　9.（　　）　10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：子供たち＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿。

B：＿＿＿＿＿＿。私が＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿？

B：もう、35。

A：じゃ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿。緑が＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：そういえば、私も＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿けど、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：このままじゃ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿、あのころは。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿には、＿＿＿＿＿＿＿＿

______________________________、そう思ったからなんだよ。

B： あの子たちが大きくなるころには、______________________________

____。魚が

____________、______________________________________

________________。

A： 何でも、____

________。きっと______________________________。

B： ええ。あら。____________。何か______________________

______。______________________________、お父さん。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

ムサシは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。ほかのハチも「ムサシはよく働く、よく働く」「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」と言って、＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。ハチ社会は豊かになり、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。今までは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿のに、今ではそうではありません。＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。働きバチのムサシは、＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。それにせっかく集めてきた食べ物は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

また、生活が豊かになったと言って、____

____。ハチたちは__

____

__________________________。ところが、__________________________________

______、____

______。それで、____、とうとう_____

____。

第22課　速　読

1960年代といえば、ようやくテレビが普及してきた時代だった。そのころの人気番組の一つに、世界のいろいろな所から、その土地の自然、人間、生活習慣を紹介するものがあった。私たちはいながらにして世界を旅行することができた。その後、テレビカメラは今まで人が行ったこともないような所にまで出かけて行って、個人で出かけたのではとても見られないような珍しいものも見せてくれるようになった。これによく似た番組は次々と作られ、今でも強い人気を持ち続けている。このようなテレビ番組がよく見られるのは、毎日同じことが繰り返される日常生活の中でせめてテレビででも知らないものに出会いたいという願いからであろうか。こうやってテレビが見たいものを何でも見せてくれるのだから、旅に出る人は少なくなってしまったかというと、そうではなく、それどころか最近の旅行者は多くなる一方なのである。

では、人はどうして旅に出るのだろうか。その理由は人によって違う。旅の中に新しい生き方を見つけようとする人もいるし、まだ見ぬ土地や自然を求めて行く人もいるだろう。旅での経験を本にした人が多いのは、旅が人に新しい驚きや喜びを与えるからだろう。知らない国で、美しい山や川を見、小鳥の歌を聞いたりしているうちに、日常生活を忘れ、心は落ち着き、新しい考え方も生まれてくることだろう。自然の大きさの中で人間の弱さを知ることもあるだろう。旅はまた、人や歴史との出会いでもある。古い建物を見て、それを作った人の姿（すがた）を心に描いてみたり、そこにその時代に生きた人たちの生活を考えることもできる。旅で出会った人の一言で、自分の人生が全く違って見えたりすることもある。出会いの後（あと）の別れ、その思い出もまた、旅を豊かなものにする。

テレビの旅には、このようなすばらしい出会いも別れもない。顔にあたる風の心地よさ、人の心の暖かさ、また、一人でいることの寂しさ、怖さ、そういうものは画面を通して体験することはできない。自分で出かけていくのでなければ、それは決して旅とは言えない。人は本当の出会いを求めて、旅に出るのである。

内容チェック

A 文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)テレビの普及してきた1960年代に、一つだけテレビの人気番組があった。
2. (　　)1960年代には、世界の自然、人間、生活習慣を紹介する番組はあまり人気がなかった。
3. (　　)私たちはテレビのおかげで、わざわざ旅行しなくても世界の様子を知ることができるようになった。
4. (　　)世界の様子を紹介するテレビ番組はよく作られ、人気もある。
5. (　　)テレビカメラの行くところは個人の旅行でも見られるところである。
6. (　　)テレビでいろいろな所へ行けるから、旅行に行く人は少なくなった。
7. (　　)新しい生き方を見つけようとして旅をする人もいる。
8. (　　)人や歴史との出会いと別れ、その思い出も旅の楽しみである。
9. (　　)テレビの画面だけでは、体験できないものがたくさんある。
10. (　　)テレビの旅は本当の旅とは言えない。

B 次の質問に答えてください。

1. 1960年代の人気番組はどんな番組でしたか。
2. テレビカメラはどんな所へ行き、何を写しましたか。
3. このような番組が今でもよく見られているのはなぜですか。
4. テレビで何でも見ることのできる現在、旅行者の数はどうなりましたか。
5. それはなぜだと思いますか。
6. 旅での経験を本にした人が多いのはなぜですか。
7. 旅から与えられる新しい驚きや喜びとはどんなことですか。
8. 旅で見る自然の中で人はどのようなことを感じますか。
9. 占い建物や歴史的なものを見て、旅行者はどのようなことを考えますか。
10. テレビの旅と自分で出かけて行く旅とでは、どんなところが違うのですか。

第22課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　)　2. (　　)　3. (　　)　4. (　　)　5. (　　)
6. (　　)　7. (　　)　8. (　　)　9. (　　)　10. (　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A:　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B:　ええ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A:　ええっ、＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿。

B:　そうよ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿。

A:　でも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。それも女の子一人で。＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B:　旅行っていうのはね、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿、そこの人が＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。
お金もあまりかからないしね。

A:　でも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。私が一人で旅をしてるとね、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。それが、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　どのくらい行くの。

B：　さあ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と思ってるの。

A：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　さあ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　) 2. (　　　) 3. (　　　) 4. (　　　) 5. (　　　)
6. (　　　) 7. (　　　) 8. (　　　) 9. (　　　) 10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

1990年には＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿。もちろん、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、それを別にしても、＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ということになります。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。どうして＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿。

今、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿と、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿。また＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿、だれもが＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と考えるようになっているからかもしれません。日本人は昔から「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿」と言います。確かに＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、

____は、__________

____が、大切なこと

は、______________________________、_________________

______________________________。_________________

__________と言って、何回も旅行をして、珍しいものを見て、________

____、それだけじゃ少し

寂しいですね。__________________________は、_____________

________________________________、知らない人々と知り合いになるこ

となんだって、______________________________________

______________________________。

第23課　速　読

おうい　雲よ
馬鹿(ばか)にのんきそうじゃないか
どこまで、ゆくんだ
ずっと磐城平(いわきだいら)の方までゆくんか

山村(やまむら)　暮鳥(ぼちょう)

山下光二(やましたこうじ)が書きたいと思っているのはこんな詩(し)だった。みんなによく分かる言葉で強さと広さを表す、このような詩が一つだけでも書けたら、それで、大学時代から仲間と続けている詩の雑誌の発行をやめようと思っていた。卒業後、仲間が一人二人とやめていき、時間的にも経済的にも余裕(よゆう)がなくなってきた今も、まだ発行を続けているのは、自分が言い出して始めたのだからやむを得(え)ないという気持ちもあるが、自分で満足のできる詩をたったの一つさえも書いていないという気持ちもあるからだ。

光二は真冬の寒さの中に感じる春の訪(おとず)れ、幼(おさな)い子供たちの飛ばすしゃぼん玉、容赦なく照りつける真夏の太陽、すれ違う女性の残す甘いにおいなどを言葉で表したかった。時に感じる怒りや苦い思いなどを、だれかにぶつけたり、酒で忘れたりせずに詩で表すことができたらどんなにいいだろうかと思った。しかし感動し、胸が熱くなったその一瞬をカメラで写すように、言葉に変えることのいかに難しいことか。頭の中に次々に浮かぶ言葉は光二が手にしようとすると、一瞬にしてその輝(かがや)きをなくし、風に吹き散(ち)らされたように消えてしまう。

おやすみ　やさしい顔した娘たち
おやすみ　やわらかな黒い髪(かみ)を編(あ)んで
私はいつまでもうたっていてあげよう
私はくらい窓の外に　そうして窓のうちに
それから眠りのうちに　おまえらの夢のおくに
それから　くりかえしくりかえし　うたっていてあげよう

立原(たちはら)　道造(みちぞう)

時には、詩なんか書いていて何の役に立つのか、いつまでたってもおれはだめだなあと思うときがある。そんなとき、光二は立原の本を開く。あふれるほどの才能を持ちながら26歳の若さで死んでいった立原の詩は、なぜか光二に力を与えてくれる。「僕はこれらの詩がそれを読んだ人たちに忘れられたころ、心地よい風とともに一つの音楽となって、心の底でうたわれることを願う」立原がこう語ったように、彼の詩は作者自身よりも長く生き続け、今も人々の心の奥の方に鳴り続けているからである。

内容チェック

A　文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)最初の詩の作者は山下光二である。
2. (　　)最初の詩はみんなによく分かる言葉で強さと広さを表した良い詩である。
3. (　　)山下光二は詩の雑誌の発行をやめようと思ったことは一度もない。
4. (　　)山下光二は大学時代から今までずっと一人で詩の雑誌の発行を続けてきた。
5. (　　)この雑誌は友達が始めたもので、山下光二はそれを手伝ってきた。
6. (　　)山下光二は、時に感じる怒りや苦い思いなどを詩で表すことができたらいいと思っている。
7. (　　)感動した瞬間をカメラのように写しとって言葉に変えることはあまり難しくない。
8. (　　)頭の中に次々に浮かぶ言葉は、詩を作ろうとすると一瞬にしてその輝きをなくし、消えてしまう。
9. (　　)山下光二は、元気をなくしたときに立原道造の詩を読む。
10. (　　)山下光二の詩は、山下光二よりも長く生き続け、今も人々の心の奥の方に鳴り続けている。

B　次の質問に答えてください。

1. 山下光二が書きたいと思っているのはどんな詩ですか。
2. 大学時代からどんなことを続けていますか。
3. なぜ今も雑誌の発行を続けているのですか。
4. 言葉で表したかったのはどんなことですか。
5. 光二は詩を書いている自分についてどう思うことがありますか。
6. そのときどうしますか。
7. 立原道造はどのような詩人でしたか。
8. 道造はどのように語ったのですか。
9. 「心地よい風とともに一つの音楽」となるのは何ですか。
10. 道造の詩が、光二に力を与えてくれるのはなぜですか。

第23課 聴 解 I

A テープを聞いて、答えてください。

1. (　　) 2. (　　) 3. (　　) 4. (　　) 5. (　　)
6. (　　) 7. (　　) 8. (　　) 9. (　　) 10. (　　)

B テープを聞いて、書いてください。

A: 友子、お父さんにね、お隣のたかし君の＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿って言ってちょうだい。

B: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿。私、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。でも、＿＿＿＿

＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿歌うなんて。

A: 本当ね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。もう少し＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B: お母さん、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿。

A: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。もう、＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿。

B: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A: そういえばそうね。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B: 学校じゃなかったわ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。私が小さいとき。

A: ____

____。友子が____

______________。____________________________________

____________________。あの中にあったわね。

B: ____________________。

A: 何が。

B: 今歌っても、____________________________、____________

____。

C: お母さん、______________________________________

____________。遅くなるから。

B: あら、______________________________。じゃ、____________

____。

A: ______________________________________。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）　2.（　　）　3.（　　）　4.（　　）　5.（　　）
6.（　　）　7.（　　）　8.（　　）　9.（　　）　10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

そうですね。＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。ところが、後で聞いてみると、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。これはまあ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿・＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と思うんですが。

例えば、明るい感じの歌だったら、＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。喜ばれますね。また、＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ね。そこに＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、はい、どうぞ、というわけですよ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿というんじゃないんです。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿、やっぱり＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿。それは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、聞く人が＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

第24課　速　読

「...心臓移植（しんぞういしょく）の手術を受けてから、移植を受けた息子の人生ばかりか、私たち家族みんなの人生が変わりました。生きるということの意味を考え、命の大切さを教えられております。...医者からあと半年といわれた息子の命でしたが、息子は今高校に戻り、元気に学生生活を続けております。来年の春には大学へ行くのだといって、現在入学試験のための勉強に、忙しい毎日を過ごしております。もし移植手術を受けていなかったら、もし息子に心臓を提供（ていきょう）してくださる方が見つからなかったら、そう考えますと、医療（いりょう）技術の進歩、それ以上に、息子に心臓を与えてくださった方に、何と言ってお礼を言っていいのか分かりません。...息子は与えられた命を、一日、一日大切に生きております。口には出しませんが、息子の毎日を見ておりますと、たくさんの方からいただいた一分一秒に感謝をしながら生きているのが、私たちにも伝わってまいります。そんな息子を見ながら、私たち家族の者みんなが、もう一度「生きる」ということを考えさせられているように思えます。...現在、臓器移植、脳死（のうし）などの問題が、あちらこちらで話し合われておりますが、移植手術を受けた患者（かんじゃ）の家族の一人として、この手術が本人だけではなく家族それぞれの人生を変え、もう一度新しく生きることになったことを、ぜひ知っていただきたくて、お手紙を書かせていただきました。」

山野（やまの）かおる　主婦　(50歳)

「...どうしてかと言いますと、あまり科学的な理由ではないと言われるかもしれませんが、それは心の問題です。私の父は三年前にがんで亡くなったのですが、今思い出しても、冷たくなった父の遺体が、もう人間ではなく、物だとはどうしても思えないのです。脳死の状態というのは、脳の働きは止まっていても、器械の力で、まだ心臓の動きは止まっていないということです。万一何かの理由で意識が戻ったら...、と考えるのは、だれでも同じではないのでしょうか。...今のままで臓器移植が自由になったら、生活のために臓器を売る人さえ出てくるのではないかと思います。血液銀行ができたときにも、お金のために血を売る人たちがいたそうです。そうなると、手術を受けられるのは

お金を持った人たちだけになります。それは、強い動物が弱い動物を食べて生きるようなものではないでしょうか。私は、人間がそんなことをするのを許すことができません。. . . 人間にはどうすることもできない大きな力が、人がいつ生まれて、いつ死ぬかを決めるのです。人間の力は小さなものです。その小さな力で、大きな力が決めたことを変えるのは、正しいことだとは思えません。」

大山（おおやま） 道子（みちこ）　教師　(32 歳)

『毎朝（まいあさ）新聞「脳死を考えよう」から』

内容チェック

A　文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)この二つの文は、毎朝新聞の「脳死(のうし)を考えよう」という記事に載せられた投書である。
2. (　　)息子が心臓移植(しんぞういしょく)の手術を受けてから、山野(やまの)さんや山野さんの家族みんなの人生が変わった。
3. (　　)山野さんの息子は、来年の春高校を卒業する。
4. (　　)もし移植手術を受けていなかったら、山野さんの息子は1年で死んでいただろう。
5. (　　)息子の心臓移植の手術が、山野さんの家族に「生きる」ということを考えさせるきっかけになった。
6. (　　)大山(おおやま)さんの父親は3年前に脳死の状態になった。
7. (　　)大山さんは、脳死の状態でもまだ何かの可能性があると信じているのは自分だけだと思っている。
8. (　　)大山さんは、臓器移植が自由になれば、お金のない人は臓器を売ることになるかもしれないと言っている。
9. (　　)大山さんは、臓器移植は強い動物が弱い動物を食べて生きるのと同じようなことだと言っている。
10. (　　)大山さんは、人間がいつ生まれて、いつ死ぬかを決めるのは人間ではないと言っている。

B　次の質問に答えてください。

1. 息子の心臓移植の手術をしてから、山野さんの家族みんなの人生は、どのように変わったのですか。
2. 今、山野さんの息子はどのような毎日を過ごしていますか。
3. 山野さんはどんなことにお礼を言いたいと言っているのですか。
4. 息子の様子から、山野さんや家族にどんなことが伝わってきますか。
5. 山野さんはなぜこの投書をしましたか。
6. 大山さんは亡くなった父親の遺体を見てどう感じましたか。
7. 脳死の状態はどのような状態ですか。
8. 臓器移植が自由になったら、どんなことが起こるだろうと大山さんは心配していますか。
9. 「小さな力」と「大きな力」とは、それぞれ何のことですか。
10. 山野さん、大山さんの意見の違う点はどんなところですか。

第24課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）　2.（　　）　3.（　　）　4.（　　）　5.（　　）
6.（　　）　7.（　　）　8.（　　）　9.（　　）　10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

A：山田、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：ありがとう。でも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：問題ないんだろう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：ああ。ところで、中川、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：医者の話じゃ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：そうか、そりゃたいへんだな。

A：おれはね、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿だけなんて、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿。でも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：お母さんは何て。

A：____

____。

B：そうか。お母さんは一日だって________________________________

__________________________けど、______________________________

____。

A：おれは____

________。山田のうちに新しい命が生まれ、________________________

____

____。それでいいと思ってるんだ。

B：____

____。

聴　解 II

A　テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）2.（　　）3.（　　）4.（　　）5.（　　）
6.（　　）7.（　　）8.（　　）9.（　　）10.（　　）

B　テープを聞いて、書いてください。

まあ、医者としては、そう考えているのですが、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と、

最近私は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、まあ＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。これまでもたくさん

見てきてるんです、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿というケースを。今の技術では、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。これは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、家族まで＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、少なくはないので

す。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、

いくらでもあるんです。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿、「一日でも長く」との思い、これは＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿のは、患者さんご本人、そ

して________________________________がそれまでと同じか、あるいは__

____。そ

れで私は______________、________________________________に

は、____

________________________。患者さん、並びに__________________

________________________________、よくお考えくださいというわけ

です。

第25課　速　読

長く訪れることのなかったふるさとに帰ってみて驚いた。変わっていると思ってはいたものの、それがあまりにも大きかったからである。以前、緑の畑が広がっていた土地一杯に大きな白い工場ができていた。人工的な姿をしたその建物からは山のように荷物をつんだ大型トラックが走り出していく。道も以前より広くなり、車の数は都会と変わらないほどである。

都会に出ることなく、ここにずっと住み続けている兄は一人で小さな菓子工場を始め、毎年少しずつ商売を大きくしてきた。初め家族だけでやっていたが、小さい工場に新しい技術が導入され、従業員（じゅうぎょういん）の数も増え、様々な商品も開発された。兄は、その商品の一つ一つに自分の店の名前を入れることに大きな喜びを感じていた。「人に喜んでもらえるいい菓子を作ることが大切なんだ。幸（さいわ）いこの30年の間、うちの菓子は町中のみんなにずっとほめてもらってきた。これからもこの手でおいしい菓子を作っていく。大学なんかに行かないで、菓子作りの勉強をして、お父さんを手伝ってくれ」と二人の息子にいつも言っていた。

ところが、10年ほど前、近くに大きな白い工場が現れた。世界的にも有名な大企業が菓子を作り始めたのである。すると、それまで一緒にやってきた菓子屋の仲間たちも、次々に店を閉（し）めたり、この工場から仕事をもらうというふうに変わっていったのである。町の人たちの生活は以前より安定し、町の発展のためにこの工場は大きな役割を果たした。第一工場に続き、第二工場が、そして研究所もでき、おおぜいの人がこの企業のグループの下で生活をするようになった。現代的な住宅やスーパーまでできた。そして、そこには都会のスーパーで売られているのと同じ菓子やケーキが並ぶようになった。

兄の夢は、だれよりもおいしい菓子を作る技術を息子たちに覚えさせ、自分と同じ道を歩かせることだった。その願いにもかかわらず、上の子は大学を出るとそのまま都会で広告会社のサラリーマンになってしまった。下の子は町に戻っては来たものの、例の企業の研究所に勤めることになったのである。

こうして私のふるさとでは町の様子だけでなく、そこに住む人々の生活や意識まで大きく変わってしまっていた。静かなふるさとの町で人々が大切にして

きた喜び、悲しみ、夢、願いというようなものは、もうみんなあの白く輝く大きな工場の中に消えてしまったかのようであった。

「そりゃ、いい企業に勤めようと思ったら大学ぐらいはちゃんと出ておかないと．．．。お父さんが僕たちに菓子を作らせたいっていう気持ちは分かるけど、それは、やっぱりお父さんの夢でしかないよ。今はもうそんなの、はやらないよ」というこの言葉に、兄はそんなものかと思ったそうである。

経済大国としてまだまだ伸(の)びることをやめようとしないこの小さな国のどこかで、同じようなことが起こっているのだろうか。

内容チェック

A　文章の内容とあっている文には○を、あっていない文には×を書いてください。

1. (　　)この人がひさしぶりに帰ったふるさとは昔のままだった。
2. (　　)この人の兄は都会で生活をしたことがない。
3. (　　)兄の作る菓子には兄の名前が入っている。
4. (　　)兄は子供たちを大学へ行かせたくなかった。
5. (　　)町の人々の生活は以前よりずっと苦しくなった。
6. (　　)大企業工場のおかげで都会と同じような菓子が食べられるようになった。
7. (　　)子供たちは兄の仕事を手伝っている。
8. (　　)いい会社に勤めるためには大学を卒業しておくべきだとこの人の兄は言っている。
9. (　　)子供たちは兄の願ったとおりになった。
10. (　　)この町の人はみんな大企業の工場に勤めている。

B　次の質問に答えてください。

1. ふるさとに帰ってこの人は何に驚いたのですか。
2. 白い工場はどんなところに建てられましたか。
3. この人の兄はどんなことをしていますか。
4. 兄はどんなことに喜びを感じていますか。
5. 兄は今の仕事で大切なことは何だと言っていますか。
6. 白い工場ができて、兄と同じような仕事をしていた人たちはどうしましたか。
7. 町はどのように変わりましたか。
8. 兄の夢は何でしたか。
9. 子供たちは兄の言うとおりにしましたか。それはなぜですか。
10. 町からなくなってしまったように思えるものは何ですか。

第25課　聴　解 I

A　テープを聞いて、答えてください。

1. (　　　)　2. (　　　)　3. (　　　)　4. (　　　)　5. (　　　)
6. (　　　)　7. (　　　)　8. (　　　)　9. (　　　)　10. (　　　)

B　テープを聞いて、書いてください。

A：　どうだい、＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿。

B：　うん、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。大きな＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。でも、＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　へえ。そりゃ、またどういうわけで。

B：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿だけど、＿＿＿＿＿＿＿＿
よ。ほら、昔は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿って＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿。女は＿＿＿＿＿＿＿＿、男は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　うん、うん。

B：　だけど、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿から、それに＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

A：　あっ、そうか。お客が＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

______、______

______。

B：　そうそう。それで、今は______

______

______。

A：　なるほどね。

B：　そっちはどう、三階。______

______。

A：　そうだな。______、______

______。でも、

これから______、______

______。部長には、「______。もっと伸ばせ。______、______」

っていわれてるけど。そんなにうまくはいかないよ。

B：　まったくね。あら、すごい人。______

______

A：　______。じゃ、どこか______

______。

聴　解 II

A テープを聞いて、答えてください。

1.（　　）　2.（　　）　3.（　　）　4.（　　）　5.（　　）
6.（　　）　7.（　　）　8.（　　）　9.（　　）　10.（　　）

B テープを聞いて、書いてください。

はい、______________________________

______________ということですね。様々な影響が出てますね。今や、男性でも 80

歳。______________________________。

それに______________________ので、21 世紀には______

______________________________ほどで

す。まずはっきりしているのが、______________________

______________。まあ、20 代から 50 代でしょう、______________

______________。______________________________

______________というわけですね。また、定年も伸びてますね。前は、__

______________________のが、今は 60 歳。それに退職しても、__

____

__________。今 60 歳の人に______________________、

______________________。前は______________

______、これが______________________が、今は______

______________________という人が多いですね。お金のためというより__

____。____

____とい

うことでしょうか。

会社の中でですか。そうですね。__________________________か

ら、____。

昔ほど____

__________________________。__________________

__________だから、__________________________、__________

____

____________。

著 作 者

荒井礼子 (神戸 YMCA 日本語学校非常勤講師)
太田純子 (元神戸 YMCA 日本語学校主任講師)
桑原直子 (元大阪 YMCA 日本語学校専任講師)
亀田美保 (大阪 YMCA 日本語学校主任講師)
木川和子 (元大阪 YMCA 日本語学校非常勤講師)
長田龍典 (大阪 YMCA 日本語学校主任講師)
松田浩志 (プール学院大学国際文化学部教授)



KENKYUSHA

〈検印省略〉

中級から学ぶ日本語
ワークブック

1991 年 7 月 25 日　初版発行
2004 年 3 月 5 日　19刷発行

著　者　松 田 浩 志 ほか
発行者　荒 木 邦 起
印刷所　研究社印刷株式会社

発行所　株 式 会 社　研 究 社

〒 102-8152
東京都千代田区富士見2-11-3
電話(編集)03(3288)7755(代)
　　(営業)03(3288)7777(代)
振　替　00150-9-26710

ISBN4-327-38427-5 C1381

Printed in Japan